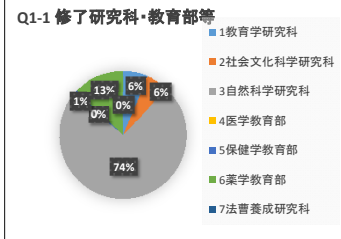


Ⅲ.修了生アンケート

平成26年度実施修士生アンケート結果集計(全体)

Q1 あなたご自身について教えてください。

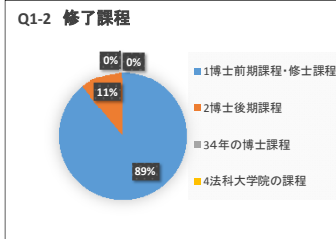
1. あなたが修了した研究科・教育部等について、該当する番号をご記入下さい。



Q1-1

1 教育学研究科	14
2 社会文化科学研究科	13
3 自然科学研究科	165
4 医学教育部	0
5 保健学教育部	2
6 薬学教育部	28
7 法曹養成研究科	0

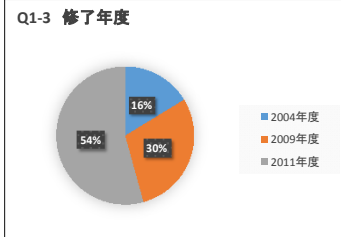
2. あなたが修了した課程について、該当する番号をご記入下さい。



Q1-2

1 博士前期課程・修士課程	196
2 博士後期課程	24
3 4年の博士課程	0
4 法科大学院の課程	0

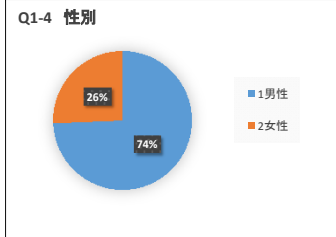
3. 修了年度を西暦又は和暦でご記入下さい。



Q1-3

2004年度	38
2009年度	65
2011年度	120

4. 男性は「1」を、女性は「2」をご記入して下さい。

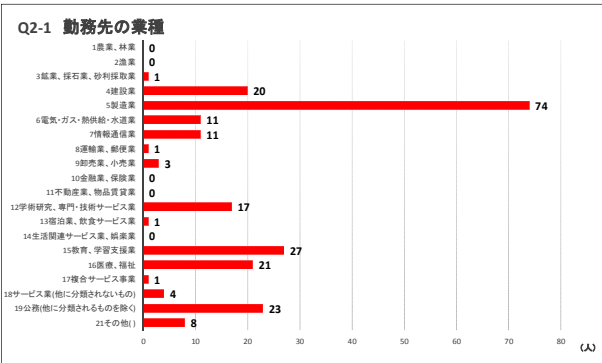


Q1-4

1 男性	165
2 女性	57

Q2 勤務先について教えてください。

1. 勤務先の主たる業種について、該当する番号をご記入下さい。



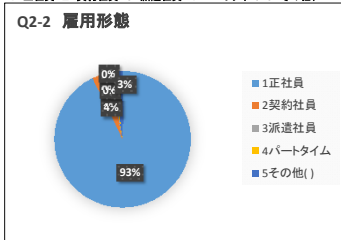
Q2-1

1 農業、林業	0
2 漁業	0
3 鉱業、採石業、砂利採取業	1
4 建設業	20
5 製造業	74
6 電気・ガス・熱供給・水道業	11
7 情報通信業	11
8 運輸業、郵便業	1
9 卸売業、小売業	3
10 金融業、保険業	0
11 不動産業、物品賃貸業	0
12 学術研究、専門・技術サービス業	17
13 宿泊業、飲食サービス業	1
14 生活関連サービス業、娯楽業	0
15 教育、学習支援業	27
16 医療、福祉	21
17 複合サービス事業	1
18 サービス業(他に分類されないもの)	4
19 公務(他に分類されるものを除く)	23
21 その他()	8

※「21その他」には、通学(博士後期課程)、貿易商社、自動車部品開発、研究、化学、製薬関連等の回答があった。

2. 勤務先での雇用形態について、該当する番号をご記入下さい。

1 正社員 2 契約社員 3 派遣社員 4 パートタイム 5 その他()



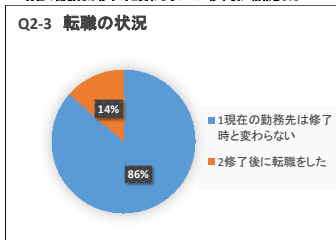
Q2-2

1 正社員	206
2 契約社員	8
3 派遣社員	1
4 パートタイム	1
5 その他()	6

※「5その他」には、自営業、非常勤講師等の回答があった。

3. 現在の勤務先について、該当する番号をご記入下さい。

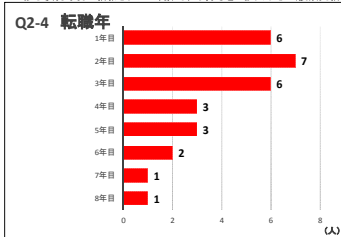
1 現在の勤務先は修了時と変わらない 2 修了後に転職をした



Q2-3

1 現在の勤務先は修了時と変わらない	190
2 修了後に転職をした	30

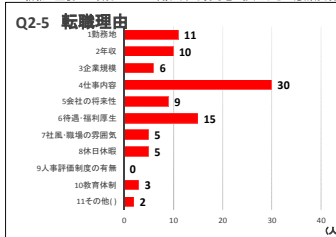
4. 修了後何年目で転職されたか、該当する番号をご記入下さい(複数回転職された方は、最初の転職について記入して下さい。)



Q2-4

1年目	6
2年目	7
3年目	6
4年目	3
5年目	3
6年目	2
7年目	1
8年目	1

5. 転職で重視した項目について、該当する番号をご記入下さい(複数回答可)。



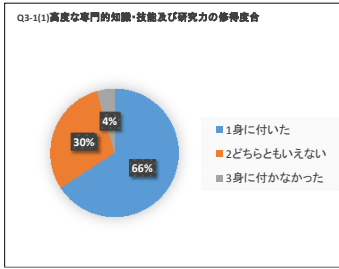
Q2-5

1 勤務地	11
2 年収	10
3 企業規模	6
4 仕事内容	30
5 会社の将来性	9
6 待遇・福利厚生	15
7 社員・職場の雰囲気	5
8 休日休暇	5
9 人事評価制度の有無	0
10 教育体制	3
11 その他()	2

※「11その他」には、自分の生き方に合う職種探しの一過程、アカデミックの道に進めるかどうか、という回答があった。

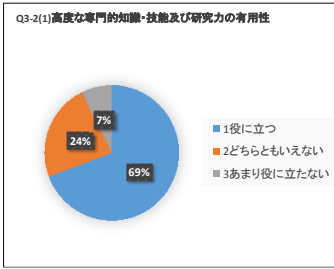
Q3 現在、熊本大学大学院は、次の表の(1)～(4)に掲げる、「大学院課程において修得すべき知識・能力(以下「大学院課程で修得すべき知識等」)」の修得を目的とする教育を実施しています。みなさまは、「大学院課程で修得すべき知識等」がまだ制定されていない時期の教育課程により修了されましたが、「大学院課程で修得すべき知識等」の修得を目的とする教育を受けて修了した学生と比較するためにお尋ねします。

1. 熊本大学大学院で受けた教育により、「大学院課程で修得すべき知識等」に相当する能力・資質がどの程度身に付いたか、について該当する番号を、表の「A3-1」欄にご記入下さい。
 1 身に付いた 2 どちらともいえない 3 身に付かなかった



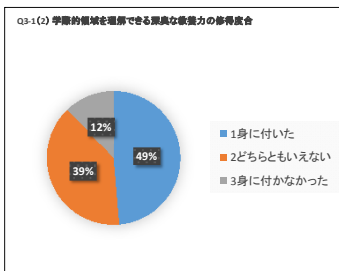
Q3-1(1)

1身に付いた	148
2どちらともいえない	68
3身に付かなかった	19



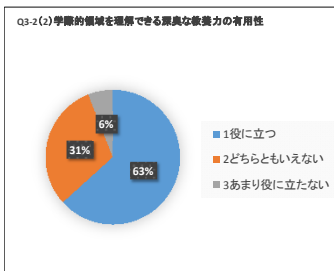
Q3-2(1)

1役に立つ	151
2どちらともいえない	51
3あまり役に立たない	18



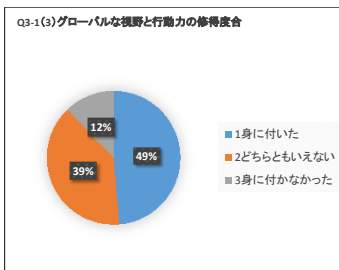
Q3-1(2)

1身に付いた	108
2どちらともいえない	87
3身に付かなかった	27



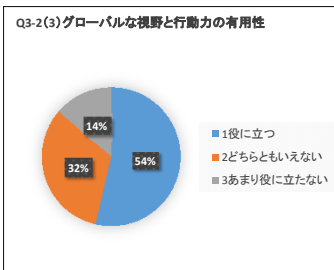
Q3-2(2)

1役に立つ	138
2どちらともいえない	87
3あまり役に立たない	13



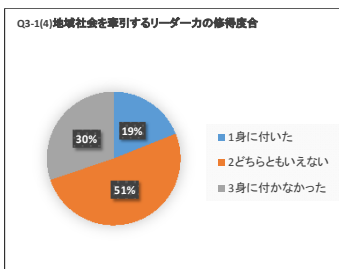
Q3-1(3)

1身に付いた	108
2どちらともいえない	87
3身に付かなかった	27



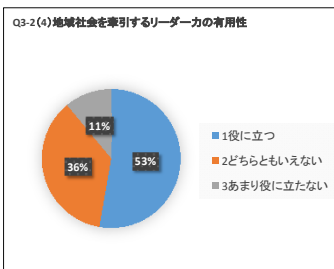
Q3-2(3)

1役に立つ	117
2どちらともいえない	71
3あまり役に立たない	30



Q3-1(4)

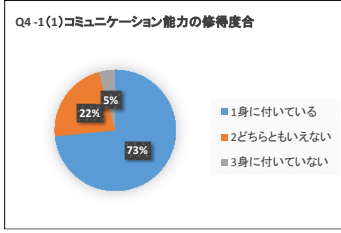
1身に付いた	42
2どちらともいえない	113
3身に付かなかった	67



Q3-2(4)

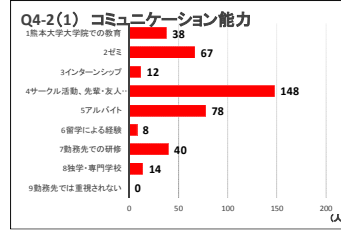
1役に立つ	115
2どちらともいえない	79
3あまり役に立たない	24

Q4 次の表に掲げる能力・資質は、中央教育審議会答申や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を簡潔化したものです。実社会での経験に照らしてお答えください。
 1. 次の表の(1)～(10)の能力・資質を身に付けているか、について該当する番号を後の「A4-1」欄にご記入下さい。なお、(7)については、具体的な能力・資質について範囲内にご記入下さい。
 1 身に付いている 2 どちらともいえない 3 身に付いていない



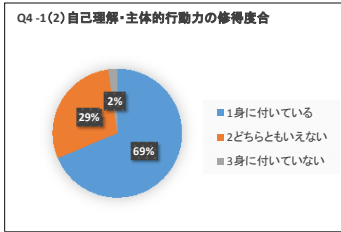
Q4-1(1)

1身に付いている	163
2どちらともいえない	49
3身に付いていない	10



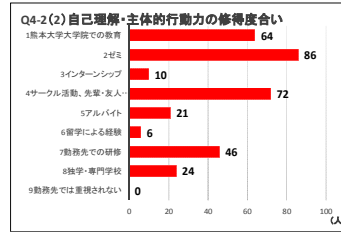
Q4-2(1)

1熊本大学大学院での教育	38
2ゼミ	67
3インターンシップ	12
4サークル活動、先輩・友人との交流	148
5アルバイト	78
6留学による経験	8
7勤務先での研修	40
8独学・専門学校	14
9勤務先では重視されない	0



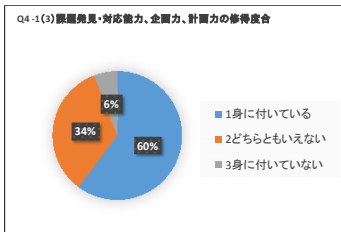
Q4-1(2)

1身に付いている	151
2どちらともいえない	64
3身に付いていない	5



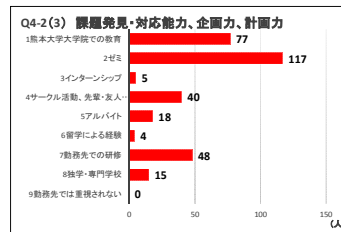
Q4-2(2)

1熊本大学大学院での教育	64
2ゼミ	86
3インターンシップ	10
4サークル活動、先輩・友人との交流	72
5アルバイト	21
6留学による経験	6
7勤務先での研修	46
8独学・専門学校	24
9勤務先では重視されない	0



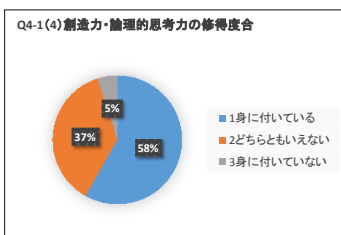
Q4-1(3)

1身に付いている	133
2どちらともいえない	75
3身に付いていない	13



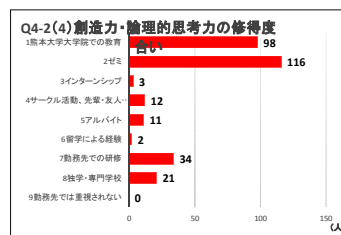
Q4-2(3)

1熊本大学大学院での教育	77
2ゼミ	117
3インターンシップ	5
4サークル活動、先輩・友人との交流	40
5アルバイト	18
6留学による経験	4
7勤務先での研修	48
8独学・専門学校	15
9勤務先では重視されない	0



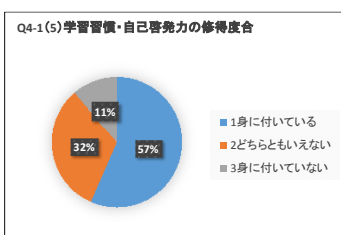
Q4-1(4)

1身に付いている	128
2どちらともいえない	81
3身に付いていない	11



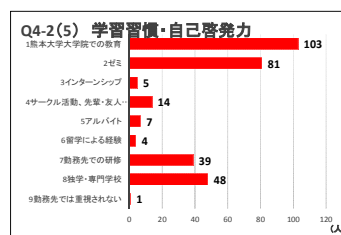
Q4-2(4)

1熊本大学大学院での教育	98
2ゼミ	116
3インターンシップ	3
4サークル活動、先輩・友人との交流	12
5アルバイト	11
6留学による経験	2
7勤務先での研修	34
8独学・専門学校	21
9勤務先では重視されない	0



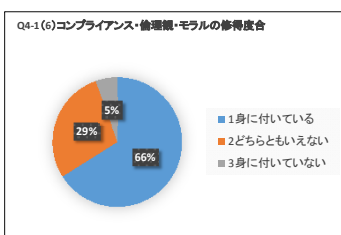
Q4-1(5)

1身に付いている	125
2どちらともいえない	71
3身に付いていない	25



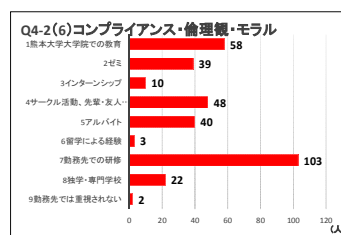
Q4-2(5)

1熊本大学大学院での教育	103
2ゼミ	81
3インターンシップ	5
4サークル活動、先輩・友人との交流	14
5アルバイト	7
6留学による経験	4
7勤務先での研修	39
8独学・専門学校	48
9勤務先では重視されない	1



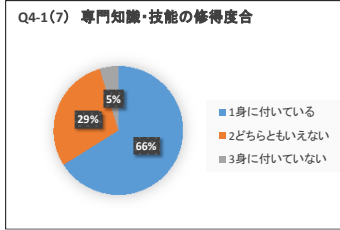
Q4-1(6)

1身に付いている	146
2どちらともいえない	63
3身に付いていない	12



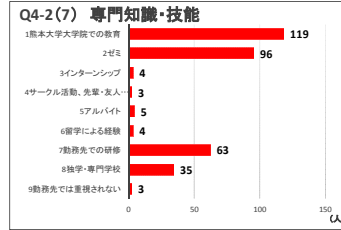
Q4-2(6)

1熊本大学大学院での教育	58
2ゼミ	39
3インターンシップ	10
4サークル活動、先輩・友人との交流	48
5アルバイト	40
6留学による経験	3
7勤務先での研修	103
8独学・専門学校	22
9勤務先では重視されない	2



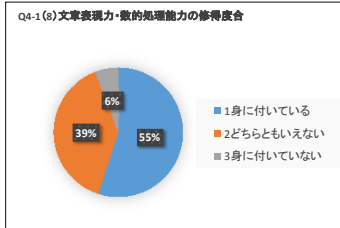
Q4-1(7)

1身に付いている	142
2どちらともいえない	63
3身に付いていない	10



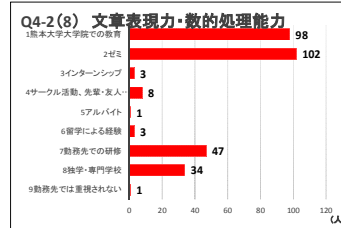
Q4-2(7)

1熊本大学大学院での教育	119
2ゼミ	96
3インターンシップ	4
4サークル活動、先輩・友人との交流	3
5アルバイト	5
6留学による経験	4
7勤務先での研修	63
8独学・専門学校	35
9勤務先では重視されない	3



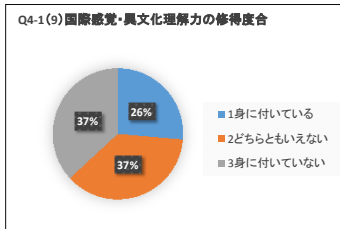
Q4-1(8)

1身に付いている	121
2どちらともいえない	86
3身に付いていない	13



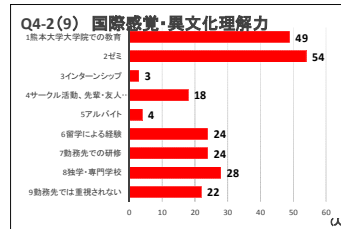
Q4-2(8)

1熊本大学大学院での教育	98
2ゼミ	102
3インターンシップ	3
4サークル活動、先輩・友人との交流	8
5アルバイト	1
6留学による経験	3
7勤務先での研修	47
8独学・専門学校	34
9勤務先では重視されない	1



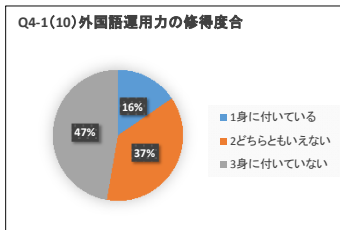
Q4-1(9)

1身に付いている	58
2どちらともいえない	81
3身に付いていない	81



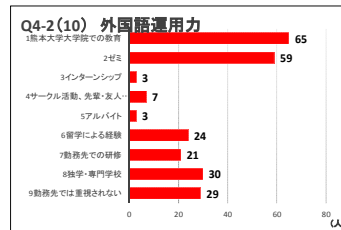
Q4-2(9)

1熊本大学大学院での教育	49
2ゼミ	54
3インターンシップ	3
4サークル活動、先輩・友人との交流	18
5アルバイト	4
6留学による経験	24
7勤務先での研修	24
8独学・専門学校	28
9勤務先では重視されない	22



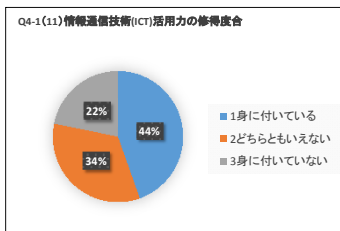
Q4-1(10)

1身に付いている	34
2どちらともいえない	82
3身に付いていない	104



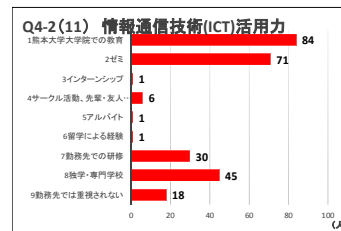
Q4-2(10)

1熊本大学大学院での教育	65
2ゼミ	59
3インターンシップ	3
4サークル活動、先輩・友人との交流	7
5アルバイト	3
6留学による経験	24
7勤務先での研修	21
8独学・専門学校	30
9勤務先では重視されない	29



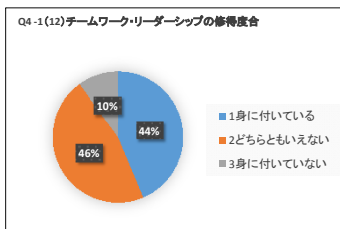
Q4-1(11)

1身に付いている	98
2どちらともいえない	74
3身に付いていない	48



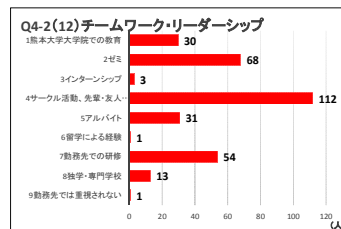
Q4-2(11)

1熊本大学大学院での教育	84
2ゼミ	71
3インターンシップ	1
4サークル活動、先輩・友人との交流	6
5アルバイト	1
6留学による経験	1
7勤務先での研修	30
8独学・専門学校	45
9勤務先では重視されない	18



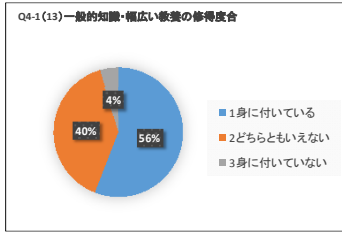
Q4-1(12)

1身に付いている	96
2どちらともいえない	102
3身に付いていない	22



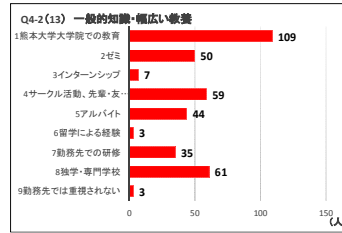
Q4-2(12)

1熊本大学大学院での教育	30
2ゼミ	68
3インターンシップ	3
4サークル活動、先輩・友人との交流	112
5アルバイト	31
6留学による経験	1
7勤務先での研修	54
8独学・専門学校	13
9勤務先では重視されない	1



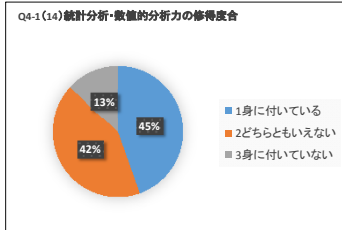
Q4-1(13)

1身に付いている	123
2どちらともいえない	87
3身に付いていない	10



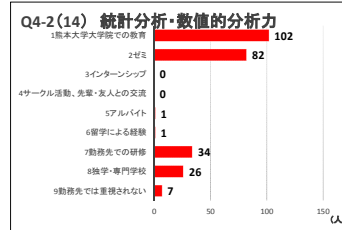
Q4-2(13)

1熊本大学大学院での教育	109
2ゼミ	50
3インターンシップ	7
4サークル活動、先輩・友人との交流	59
5アルバイト	44
6留学による経験	3
7勤務先での研修	35
8独学・専門学校	61
9勤務先では重視されない	3



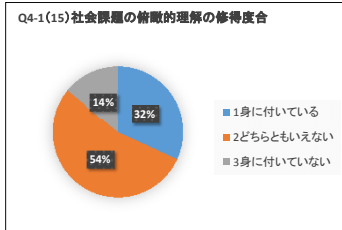
Q4-1(14)

1身に付いている	98
2どちらともいえない	93
3身に付いていない	29



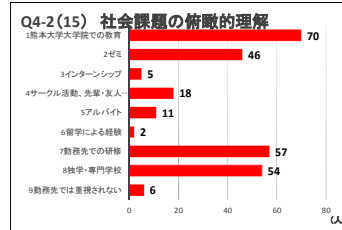
Q4-2(14)

1熊本大学大学院での教育	102
2ゼミ	82
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	1
6留学による経験	1
7勤務先での研修	34
8独学・専門学校	26
9勤務先では重視されない	7



Q4-1(15)

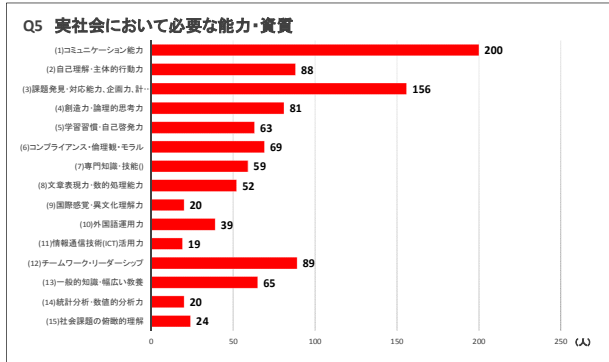
1身に付いている	70
2どちらともいえない	119
3身に付いていない	31



Q4-2(15)

1熊本大学大学院での教育	70
2ゼミ	46
3インターンシップ	5
4サークル活動、先輩・友人との交流	18
5アルバイト	11
6留学による経験	2
7勤務先での研修	57
8独学・専門学校	54
9勤務先では重視されない	6

Q5 Q4の表の(1)~(15)の能力・資質のうち、実社会における経験に照らして必要とお考えになるものについて、5つまでその番号をご記入下さい。



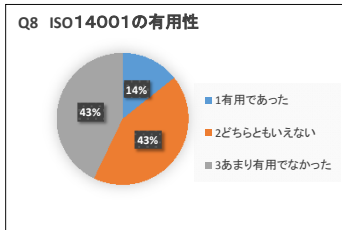
Q5

(1)コミュニケーション能力	200
(2)自己理解・主体的行動力	88
(3)課題発見・対応能力、企画力、計画力	156
(4)創造力・論理的思考力	81
(5)学習習慣・自己啓発力	63
(6)コンプライアンス・倫理観・モラル	69
(7)専門知識・技能①	59
(8)文章表現力・数的処理能力	52
(9)国際感覚・異文化理解力	20
(10)外国語運用力	39
(11)情報通信技術(CT)活用能力	19
(12)チームワーク・リーダーシップ	89
(13)一般的知識・幅広い教養	65
(14)統計分析・数値的分析力	20
(15)社会課題の俯瞰的理解	24

※「(7)専門知識・技能」には次の記載があった。

電気工学、構造工学、建築設計、制御工学、環境行政、デジタル回路、数学、薬理学、薬学、土木工学、電気電子、粉体プロセス、英語教育、PC技術、美術、土木技術、金属材料、診療情報管理、生物学、機械工学、土木業務、機械工学、生命倫理、土木系の知識、IT知識、材料学、工学、電気、パソコン、半導体設計、プログラミング、薬学の知識、ソフトウェア開発、システム開発、情報処理、設計能力、情報発信・プレゼン能力、薬剤師としての知識・技術、測定・分析装置等の使用能力、薬剤師としての知識・技能、設計・施工時の3次元モデル活用、DTPエキスパート、基本情報技術者試験、医療系の専門知識、分析化学、化学工学、半導体・電子回路、材料分野に関する知識、薬学・調剤・調製等、マーケティング能力、古文書の読解力、パソコン処理能力、情報処理技術、小学校教員に必要な専門知識、薬学に関すること、プログラミング・サーバ・ネットワーク、電気(電力)に関する知識、ソフトウェアに関する知識、電気・電子・情報分野、環境衛生工学、薬学、生命科学、教科の力と教える技能、中学校で授業をするために必要な知識や技能、税理士、税理士会相談員(公務員税理士の経験から)

Q8 薬学教育部を修了された方にお尋ねします。薬学教育部が独自に導入している「ISO14001」に基づく教育システムは、就職活動や卒業後に有用でしたが、また、よろしければ、その理由をご記入下さい。
1 有用であった 2 どちらともいえない 3 あまり有用でなかった



Q8

1有用であった	4
2どちらともいえない	12
3あまり有用でなかった	12

**修了生アンケート
(教育学研究科)**

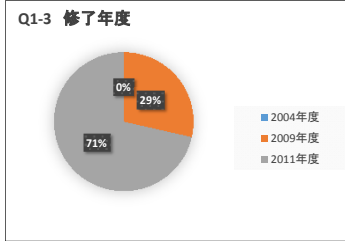
平成26年度実施修了生アンケート結果集計(教育学研究科)

Q1 あなたご自身について教えてください。
2. あなたが修了した課程について、該当する番号をご記入下さい。

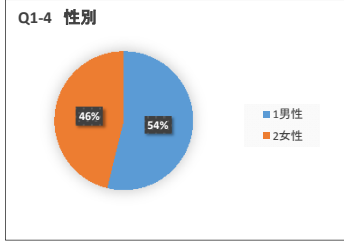
Q1-2

1 博士前期課程・修士課程	14
2 博士後期課程	0
3 4年の博士課程	0
4 法科大学院の課程	0

3. 修了年度を西暦又は和暦でご記入下さい。

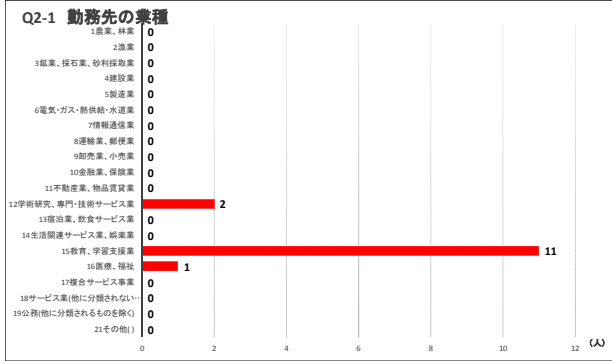


4. 男性は「1」を、女性は「2」を記入して下さい。



Q2 勤務先について教えてください。

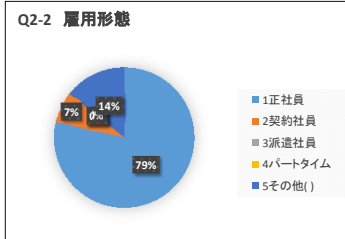
1. 勤務先の主たる業種について、該当する番号をご記入下さい。



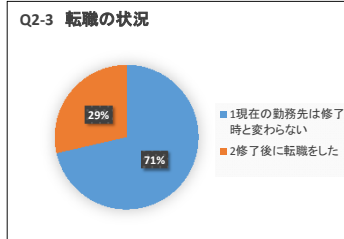
Q2-1

1 農業、林業	0
2 漁業	0
3 鉱業、採石業、砂利採取業	0
4 建設業	0
5 製造業	0
6 電気・ガス・熱供給・水道業	0
7 情報通信業	0
8 運輸業、郵便業	0
9 卸売業、小売業	0
10 金融業、保険業	0
11 不動産業、物品賃貸業	0
12 学術研究、専門・技術サービス業	2
13 宿泊業、飲食サービス業	0
14 生活関連サービス業、娯楽業	0
15 教育、学習支援業	11
16 医療、福祉	1
17 複合サービス事業	0
18 サービス業(他に分類されないもの)	0
19 公務(他に分類されるものを除く)	0
21 その他()	0

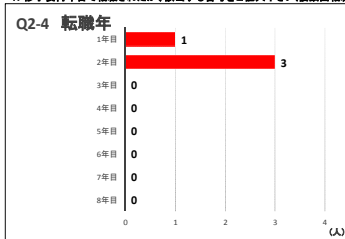
2. 勤務先での雇用形態について、該当する番号をご記入下さい。



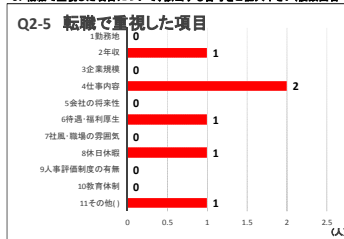
3. 現在の勤務先について、該当する番号をご記入下さい。



4. 修了後何年目で転職されたか、該当する番号をご記入下さい(複数回転職された方は、最初の転職について記入して下さい。)



5. 転職で重視した項目について、該当する番号をご記入下さい(複数回答可)。



Q2-5

1 勤務地	0
2 年収	1
3 企業規模	0
4 仕事内容	2
5 会社の将来性	0
6 待遇・福利厚生	1
7 社員・職場の雰囲気	0
8 休日休暇	1
9 人事評価制度の有無	0
10 教育体制	0
11 その他()	1

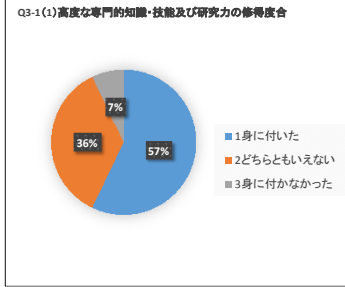
Q3 現在、熊本大学大学院は、次の表の(1)~(4)に掲げる、「大学院課程において修得すべき知識・能力(以下「大学院課程で修得すべき知識等」)」の修得を目的とする教育を実施しています。

みなさまは、「大学院課程で修得すべき知識等」がまだ制定されていない時期の教育課程により修了されましたが、「大学院課程で修得すべき知識等」の修得を目的とする教育を受けて修了した学生と比較するためにお願いします。

1. 熊本大学大学院で受けた教育により、「大学院課程で修得すべき知識等」に相当する能力・実質がどの程度身に付いたか、について該当する番号を、表の「A3-1」欄にご記入下さい。

2. 実社会で読み直してこれた経験に照らして、「大学院課程で修得すべき知識等」は実社会においてどの程度役に立つか、について該当する番号を、表の「A3-2」欄にご記入下さい。

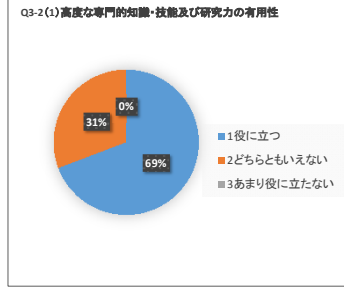
1 身に付いた 2 どちらともいえない 3 身に付かなかった



Q3-1(1)

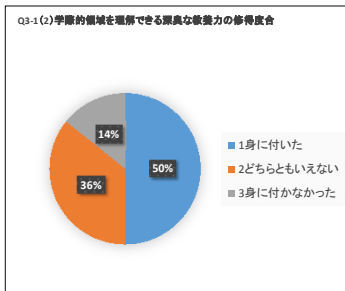
1身に付いた	8
2どちらともいえない	5
3身に付かなかった	1

1 役に立つ 2 どちらともいえない 3 あまり役に立たない



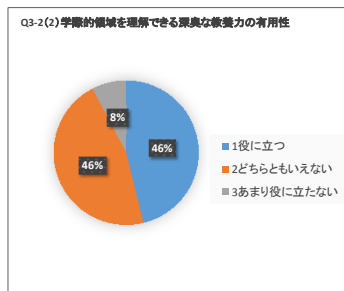
Q3-2(1)

1役に立つ	9
2どちらともいえない	4
3あまり役に立たない	0



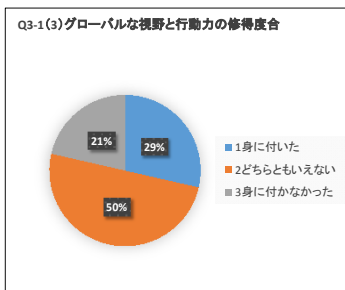
Q3-1(2)

1身に付いた	7
2どちらともいえない	5
3身に付かなかった	2



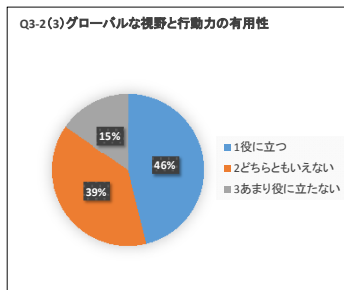
Q3 A3-2(2)

1役に立つ	6
2どちらともいえない	6
3あまり役に立たない	1



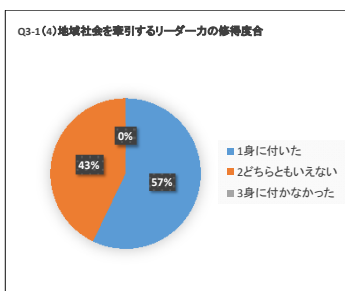
Q3-1(3)

1身に付いた	4
2どちらともいえない	7
3身に付かなかった	3



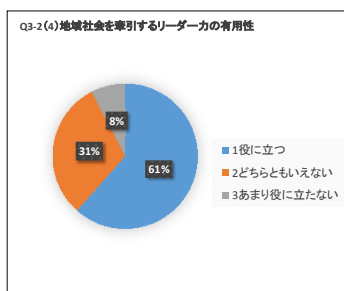
Q3-2(3)

1役に立つ	6
2どちらともいえない	5
3あまり役に立たない	2



Q3-1(4) 地域社会を牽引するリーダー力

1身に付いた	8
2どちらともいえない	6
3身に付かなかった	0



Q3-2(4)

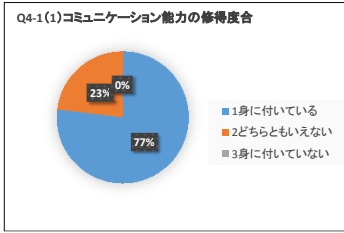
1役に立つ	8
2どちらともいえない	4
3あまり役に立たない	1

Q4 次の表に掲げる能力・資質は、中央教育審議会中や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を顕微化したものです。貴社での経験に照らしてお答えください。

1. 次の表の(1)～(6)の能力・資質を身に付けているか、について該当する番号を後の「A4-1」欄にご記入下さい。なお、(7)については、具体的な能力・資質について括弧内にご記入下さい。

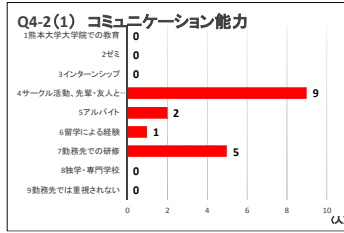
1 身に付いている 2 どちらともいえない 3 身に付いていない

2. 次の表の(1)～(6)の能力・資質を身に付けるのに何が役に立ったか、について該当する番号を後の「A4-2」欄にご記入下さい(複数回答可)。



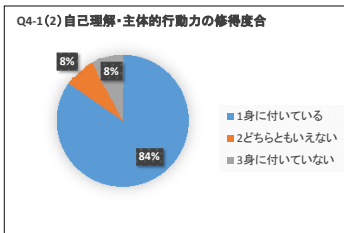
Q4-1(1)

1身に付いている	10
2どちらともいえない	3
3身に付いていない	0



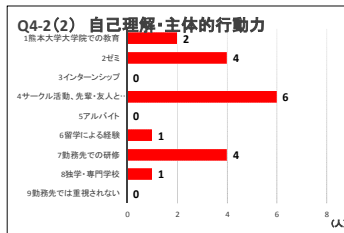
Q4-2(1)

1 熊本大学大学院での教育	0
2 ゼミ	0
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	9
5 アルバイト	2
6 留学による経験	1
7 勤務先での研修	5
8 進学・専門学校	0
9 勤務先では重視されない	0



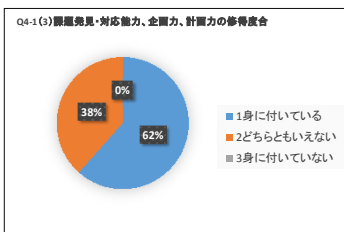
Q4-1(2)

1身に付いている	11
2どちらともいえない	1
3身に付いていない	1



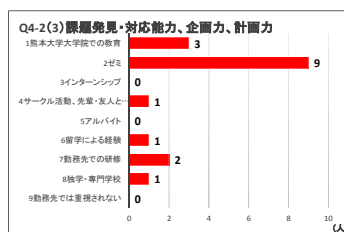
Q4-2(2)

1 熊本大学大学院での教育	2
2 ゼミ	4
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	6
5 アルバイト	0
6 留学による経験	1
7 勤務先での研修	4
8 進学・専門学校	1
9 勤務先では重視されない	0



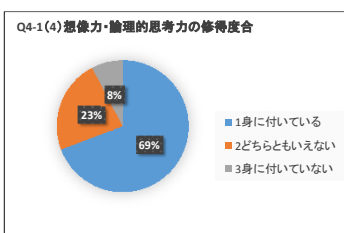
Q4-1(3)

1身に付いている	8
2どちらともいえない	5
3身に付いていない	0



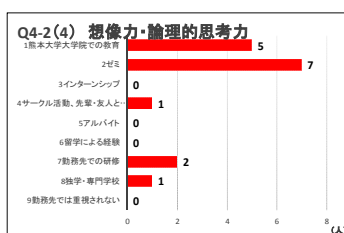
Q4-2(3)

1 熊本大学大学院での教育	3
2 ゼミ	9
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	1
5 アルバイト	0
6 留学による経験	1
7 勤務先での研修	2
8 進学・専門学校	1
9 勤務先では重視されない	0



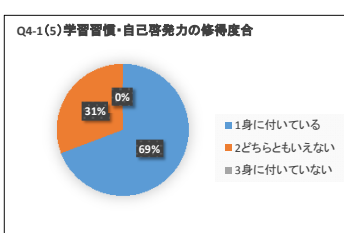
Q4-1(4)

1身に付いている	9
2どちらともいえない	3
3身に付いていない	1



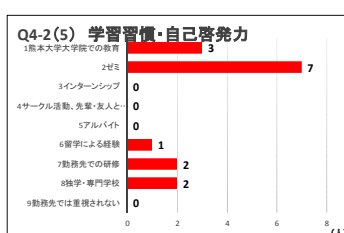
Q4-2(4)

1 熊本大学大学院での教育	5
2 ゼミ	7
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	1
5 アルバイト	0
6 留学による経験	0
7 勤務先での研修	2
8 進学・専門学校	1
9 勤務先では重視されない	0



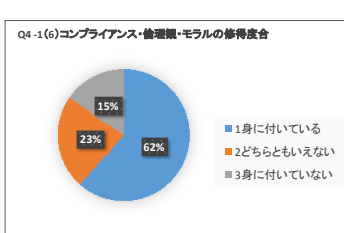
Q4-1(5)

1身に付いている	9
2どちらともいえない	4
3身に付いていない	0



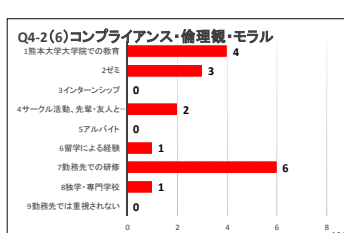
Q4-2(5)

1 熊本大学大学院での教育	3
2 ゼミ	7
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	0
5 アルバイト	0
6 留学による経験	1
7 勤務先での研修	2
8 進学・専門学校	2
9 勤務先では重視されない	0



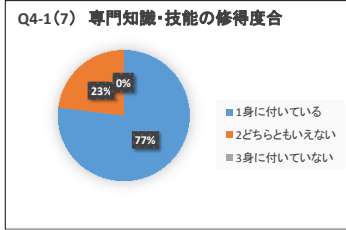
Q4-1(6)

1身に付いている	8
2どちらともいえない	3
3身に付いていない	2

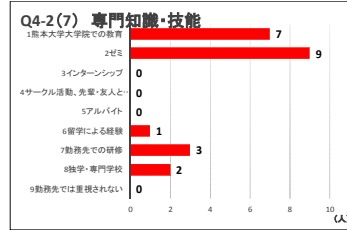


Q4-2(6)

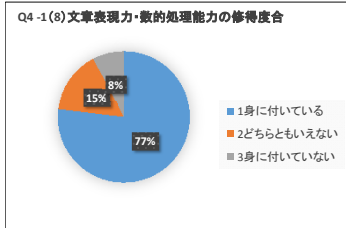
1 熊本大学大学院での教育	4
2 ゼミ	3
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	2
5 アルバイト	0
6 留学による経験	1
7 勤務先での研修	6
8 進学・専門学校	1
9 勤務先では重視されない	0



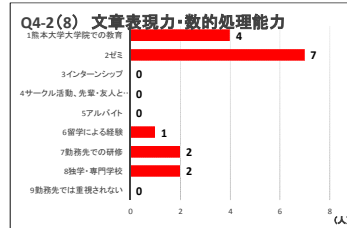
1身に付いている	10
2どちらともいえない	3
3身に付いていない	0



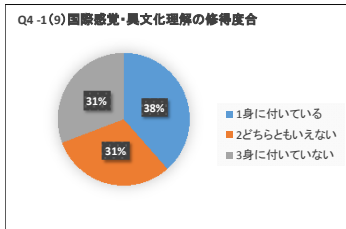
1熊本大学大学院での教育	7
2ゼミ	9
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	1
7勤務先での研修	3
8進学・専門学校	2
9勤務先では重視されない	0



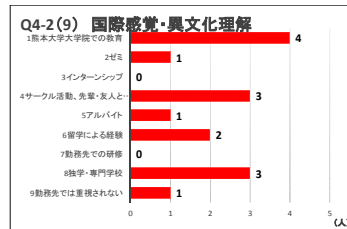
1身に付いている	10
2どちらともいえない	2
3身に付いていない	1



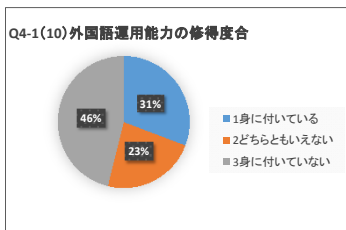
1熊本大学大学院での教育	4
2ゼミ	7
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	1
7勤務先での研修	2
8進学・専門学校	2
9勤務先では重視されない	0



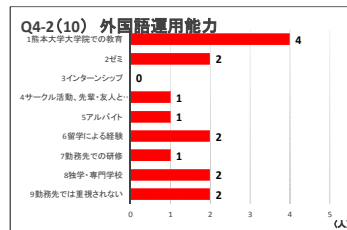
1身に付いている	5
2どちらともいえない	4
3身に付いていない	4



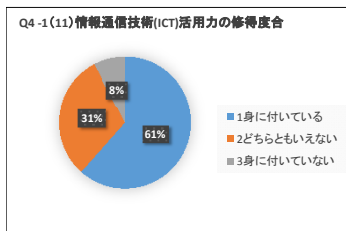
1熊本大学大学院での教育	4
2ゼミ	1
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	3
5アルバイト	1
6留学による経験	2
7勤務先での研修	0
8進学・専門学校	3
9勤務先では重視されない	1



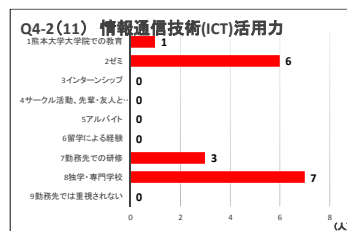
1身に付いている	4
2どちらともいえない	3
3身に付いていない	6



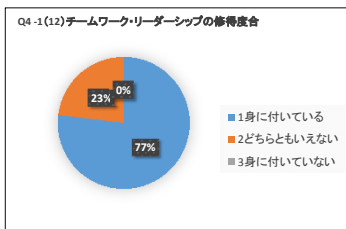
1熊本大学大学院での教育	4
2ゼミ	2
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	1
6留学による経験	2
7勤務先での研修	1
8進学・専門学校	2
9勤務先では重視されない	2



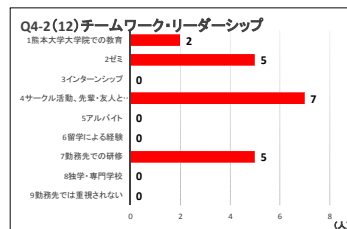
1身に付いている	8
2どちらともいえない	4
3身に付いていない	1



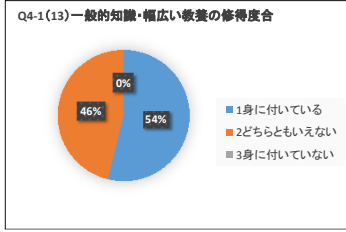
1熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	6
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	3
8進学・専門学校	7
9勤務先では重視されない	0



1身に付いている	10
2どちらともいえない	3
3身に付いていない	0

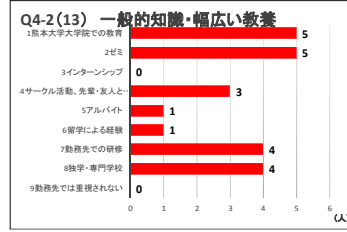


1熊本大学大学院での教育	2
2ゼミ	5
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	7
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	5
8進学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



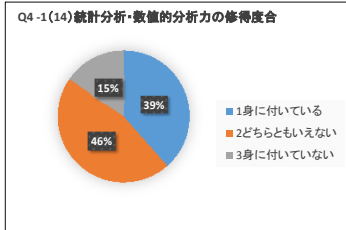
Q4-1(13)

1身に付いている	7
2どちらともいえない	6
3身に付いていない	0



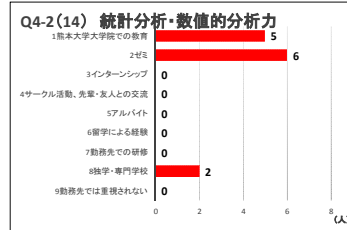
Q4-2(13)

1熊本大学大学院での教育	5
2ゼミ	5
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	3
5アルバイト	1
6留学による経験	1
7勤務先での研修	4
8独学・専門学校	4
9勤務先では重視されない	0



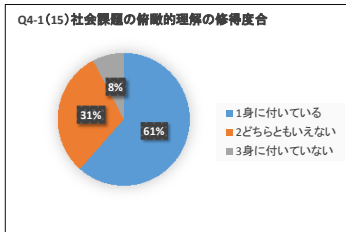
Q4-1(14)

1身に付いている	5
2どちらともいえない	6
3身に付いていない	2



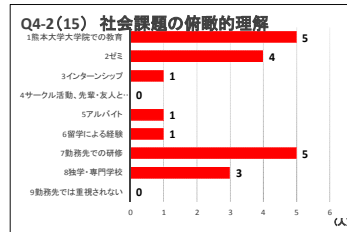
Q4-2(14)

1熊本大学大学院での教育	5
2ゼミ	6
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	2
9勤務先では重視されない	0



Q4-1(15)

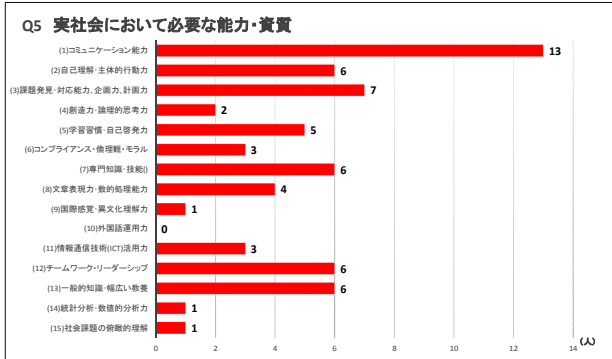
1身に付いている	8
2どちらともいえない	4
3身に付いていない	1



Q4-2(15)

1熊本大学大学院での教育	5
2ゼミ	4
3インターンシップ	1
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	1
6留学による経験	1
7勤務先での研修	5
8独学・専門学校	3
9勤務先では重視されない	0

Q5 Q4の表の(1)~(15)の能力・資質のうち、実社会における経験に照らして必要とお考えになるものについて、5つまでその番号をご記入下さい。



Q5

(1)コミュニケーション能力	13
(2)自己理解・主体的行動力	6
(3)課題発見・対応能力、企画力、計画力	7
(4)創造力・論理的思考力	2
(5)学習習慣・自己啓発力	5
(6)コンプライアンス・倫理観・モラル	3
(7)専門知識・技能①	6
(8)文章表現力・数的処理能力	4
(9)国際感覚・異文化理解力	1
(10)外国語運用力	0
(11)情報通信技術(ICT)活用能力	3
(12)チームワーク・リーダーシップ	6
(13)一般的知識・幅広い教養	6
(14)統計分析・数値的分析力	1
(15)社会課題の俯瞰的理解	1

Q6 Q4の能力・資質のほかに、社会人として必要と思うもの、大学院時代に身に付けておけばよかったこと、熊本大学大学院の学生に学生時代に身に付けて欲しいことや経験して欲しいこと等について

修了年度	社会人として必要と思うもの等
2009	高等教育の功罪だと思うのですが、大学院レベルの教育を受けた人の中には、実践を軽視し、同等レベルの教育を受けていない人に対して、理詰めで論議を交わし知識を1つの武器として行使している感があります。知識は実践により、説得力を増すものと私は捉えています。上記のような人は知識というものはき違えているのではないかと、大学院でどういう教育を受けてきたのかと疑問に思います。謙虚さに乏しいと思います。どうすれば謙虚さは身につけられるでしょうか。
2009	様々な職種について活動の趣旨や社会的役割等についての理解を深める機会が欲しかったです。インターシップなど、実際に職務内容をこなしてみる機会がもっとあれば自分の性格や自己理解を促せた気がします。
2009	健康と体力です。
2011	大学院入学と同時に、開発部隊に移動となり研究と仕事の両立や、研究内容への理解が得られるか心配しておりました。
2011	県外のため、毎週や毎月の通学が困難である。
2011	他の仕事が多いため、時間の確保が難しい。
2011	実験をする時間が確保できるかということ。修業年限内に卒業可能かどうか。自分の専門分野外の学科へ進学する事への不安(学力、研究など)。

Q7 有意義だったと思う授業について、またその理由

修了年度	有意義だったと思う授業
2009	ロールプレイや実習などを多く取り入れている授業は有効で、実際働くときに戸惑うことなく動けるように思います。
2009	体育社会学:社会(物事)を広く見れるようになったから。視野が広がった。体育科教育学:授業の基本、こどもの見方、対応の仕方を学ぶ事ができたから。
2009	日常の仕事に忙殺され、自分を見失いかけていましたので、そのような時に大学院で仕事を離れて学ぶことができ、すべてのことが有意義でした。ただ、現場に戻ったら、今まで以上に仕事に忙殺され、大学院で学んだことを生かす場もあまりないことが残念です。
2011	大学の先生や先輩に、人吉や天草などに露頭の観察などフィールドワークに連れて行ってもらった。それにより、教員としての実践的な指導力につながった。
2011	「リーダーシップ原論」学校での人間関係形成に役立っている。
2011	ゼミでの活動と、協力校実習。附属での実習は、全く有意義ではなかったと、実社会に出て気付かされました。二つの授業(または体験)を挙げた理由は、今の自分が大学時代を振り返ったときに役に立つ知識(論理的思考、専門知識)がほぼその時間に育まれたように感じるから。
2011	留学生と同じクラスで学び、それぞれの国の様子や人々の考え方を知れたこと。
2011	実習 現場感覚が少しでも身につくから。机上でなく実践こそ即戦力になる。

Q9 教育を含め、熊本大学大学院全般にわたって意見等

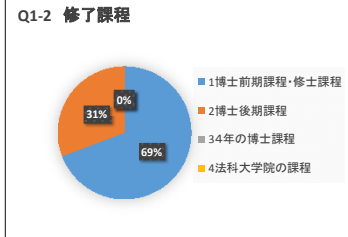
修了年度	全般的な意見
2009	大学院とは、より高度の教育を求めている人が来る場所と思っていましたが、実際には実社会にでる前のモトリアムの場であったり、就職するまでのつなぎの場であったりする現状を見て正直残念に思いました。
2009	大学院時代を過ごしてみて、社会から隔絶されていたという印象を受けました。様々な職種を経験し、いろんな人と触れ合う機会が欲しかったです。
2011	就職よりも研究といった授業内容やカリキュラムだったため、採用試験は独学で行った。もっと就職を意識したものにしてほしい。
2011	国立の教育系学部じゃ原則1県1校なので、熊本県の教育進行のため、熊大にがんばって欲しい。現場の先生は、大学からの情報を頼りにしている部分が多いです。よろしくお願いします。
2011	特にありません。「憧れられる大学」になっていくよう、特に教育学部、教育学研究科で行われる教育が、このアンケートが有効に活用されることで改善されていくことを願っております。
2011	何かアピールしていくこと、外に発信していく体制がこれからは必要だと思います。これまでの“型”にはまった大学、大学院ではたしかに現実社会への対応力、世界に通用する人材は育たないと思います。

**修了生アンケート
(社会文化科学研究科)**

平成26年度実施修了生アンケート結果集計(社会文化科学研究科)

Q1 あなたご自身について教えてください。

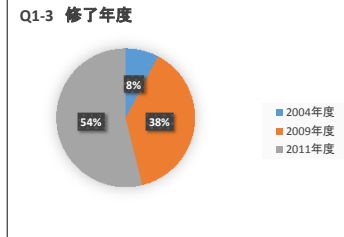
2. あなたが修了した課程について、該当する番号をご記入下さい。



Q1-2

1 博士前期課程・修士課程	9
2 博士後期課程	4
3 34年の博士課程	0
4 法科大学院の課程	0

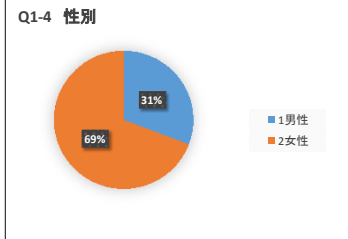
3. 修了年度を西暦又は和暦でご記入下さい。



Q1-3

2004年度	1
2009年度	5
2011年度	7

4. 男性は「1」を、女性は「2」を記入して下さい。

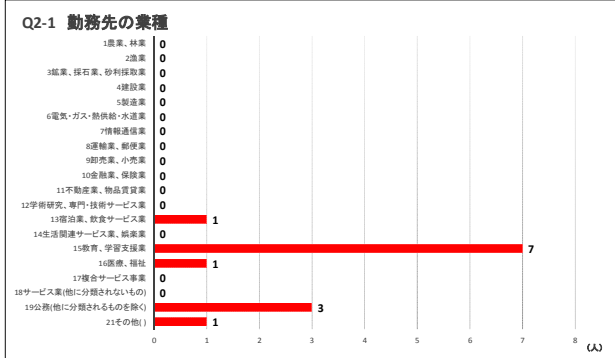


Q1-4

1 男性	4
2 女性	9

Q2 勤務先について教えてください。

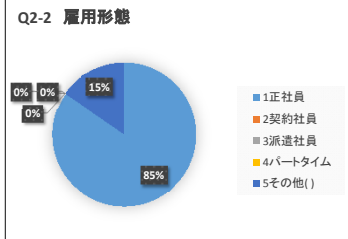
1. 勤務先の主たる業種について、該当する番号をご記入下さい。



Q2-1

1 農業、林業	0
2 漁業	0
3 鉱業、採石業、砂利採取業	0
4 建設業	0
5 製造業	0
6 電気・ガス・熱供給・水道業	0
7 情報通信業	0
8 運輸業、郵便業	0
9 卸売業、小売業	0
10 金融業、保険業	0
11 不動産業、物品賃貸業	0
12 学術研究、専門・技術サービス業	0
13 宿泊業、飲食サービス業	1
14 生活関連サービス業、娯楽業	0
15 教育、学習支援業	7
16 医療、福祉	1
17 複合サービス事業	0
18 サービス業(他に分類されないもの)	0
19 公務(他に分類されるものを除く)	3
21 その他()	1

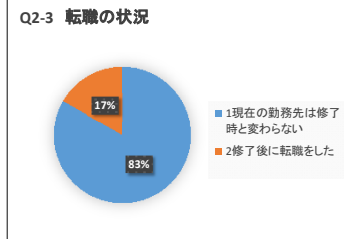
2. 勤務先での雇用形態について、該当する番号をご記入下さい。



Q2-2

1 正社員	11
2 契約社員	0
3 派遣社員	0
4 パートタイム	0
5 その他()	2

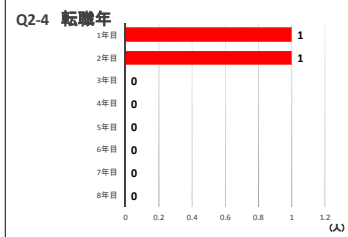
3. 現在の勤務先について、該当する番号をご記入下さい。



Q2-3

1 現在の勤務先は修了時と変わらない	10
2 修了後に転職をした	2

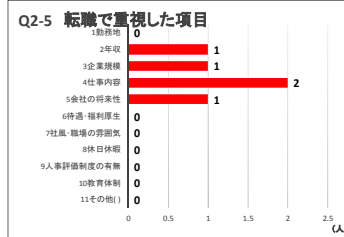
4. 修了後何年目で転職されたか、該当する番号をご記入下さい(複数回転職された方は、最初の転職について記入して下さい。)



Q2-4

1年目	1
2年目	1
3年目	0
4年目	0
5年目	0
6年目	0
7年目	0
8年目	0

5. 転職で重視した項目について、該当する番号をご記入下さい(複数回答可)。



Q2-5

1 勤務地	0
2 年収	1
3 企業規模	1
4 仕事内容	2
5 会社の将来性	1
6 待遇・福利厚生	0
7 社風・職場の雰囲気	0
8 休日休暇	0
9 人事評価制度の有無	0
10 教育体制	0
11 その他()	0

Q3 現在、熊本大学大学院は、次の表の(1)～(4)に掲げる、「大学院課程において修得すべき知識・能力(以下「大学院課程で修得すべき知識等」)」の修得を目的とする教育を実施しています。

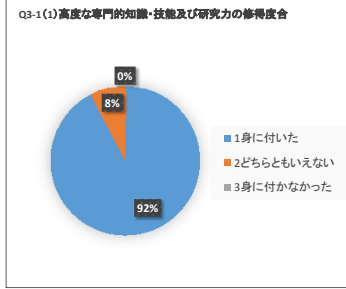
みなさまは、「大学院課程で修得すべき知識等」がまだ制定されていない時期の教育課程により修了されましたが、「大学院課程で修得すべき知識等」の修得を目的とする教育を受けて修了した学生と比較するためにお願いします。

1. 熊本大学大学院で受けた教育により、「大学院課程で修得すべき知識等」に相当する能力・実質がどの程度身に付いたか、について該当する番号を、表の「A3-1」欄にご記入下さい。

2. 実社会で読み直してこれた経験に照らして、「大学院課程で修得すべき知識等」は実社会においてどの程度役に立つか、について該当する番号を、表の「A3-2」欄にご記入下さい。

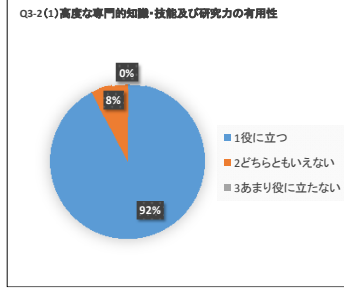
1 身に付いた 2 どちらともいえない 3 身に付かなかった

1 役に立つ 2 どちらともいえない 3 あまり役に立たない



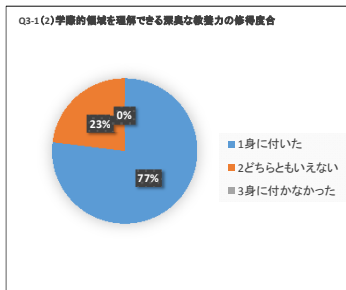
Q3-1(1)

1身に付いた	12
2どちらともいえない	1
3身に付かなかった	0



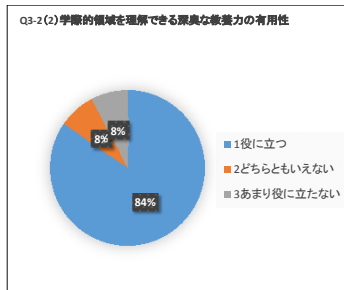
Q3-2(1)

1役に立つ	12
2どちらともいえない	1
3あまり役に立たない	0



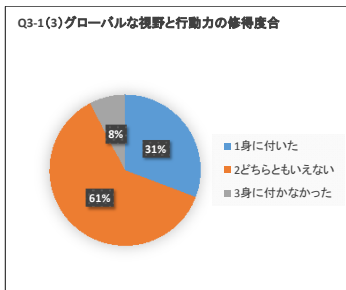
Q3-1(2)

1身に付いた	10
2どちらともいえない	3
3身に付かなかった	0



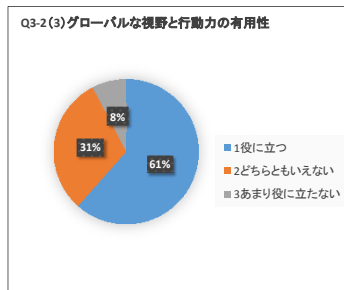
Q3-2(2)

1役に立つ	11
2どちらともいえない	1
3あまり役に立たない	1



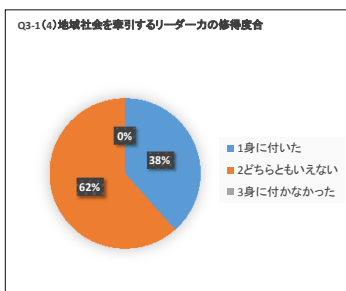
Q3-1(3)

1身に付いた	4
2どちらともいえない	8
3身に付かなかった	1



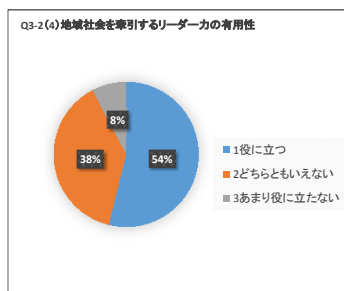
Q3-2(3)

1役に立つ	8
2どちらともいえない	4
3あまり役に立たない	1



Q3-1(4)

1身に付いた	5
2どちらともいえない	8
3身に付かなかった	0



Q3-2(4)

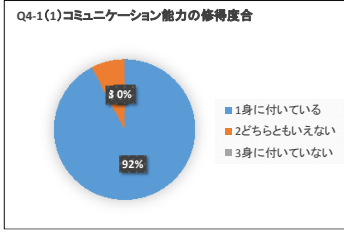
1役に立つ	7
2どちらともいえない	5
3あまり役に立たない	1

Q4 次の表に掲げる能力・資質は、中央教育審議会等や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を顕微化したものです。貴社での経験に照らしてお答えください。

1. 次の表の(1)～(6)の能力・資質を身に付けているか、について該当する番号を後の「A4-1」欄にご記入下さい。なお、(7)については、具体的な能力・資質について括弧内に記入下さい。

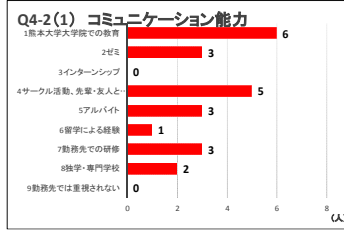
1 身に付いている 2 どちらともいえない 3 身に付いていない

2. 次の表の(1)～(6)の能力・資質を身に付けるのに何が役に立ったか、について該当する番号を後の「A4-2」欄にご記入下さい(複数回答可)。



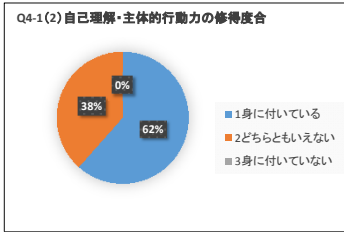
Q4-1(1)

1 身に付いている	12
2 どちらともいえない	1
3 身に付いていない	0



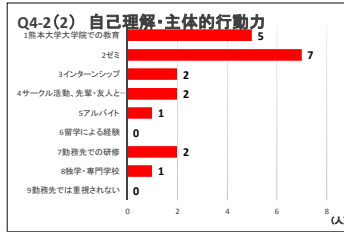
Q4-2(1)

1 熊本大学大学院での教育	6
2 ゼミ	3
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	5
5 アルバイト	3
6 留学による経験	1
7 勤務先での研修	3
8 進学・専門学校	2
9 勤務先では重視されない	0



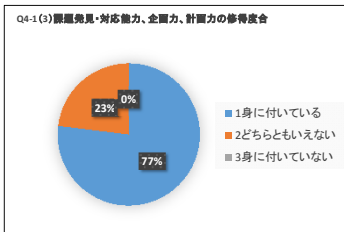
Q4-1(2)

1 身に付いている	8
2 どちらともいえない	5
3 身に付いていない	0



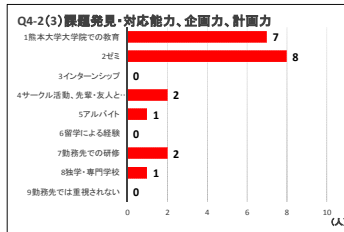
Q4-2(2)

1 熊本大学大学院での教育	5
2 ゼミ	7
3 インターンシップ	2
4 サークル活動、先輩・友人との交流	2
5 アルバイト	1
6 留学による経験	0
7 勤務先での研修	2
8 進学・専門学校	1
9 勤務先では重視されない	0



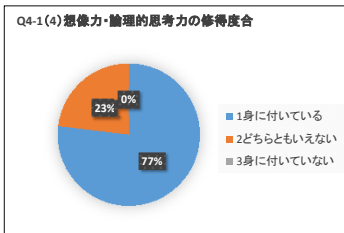
Q4-1(3)

1 身に付いている	10
2 どちらともいえない	3
3 身に付いていない	0



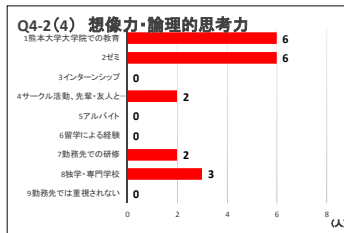
Q4-2(3)

1 熊本大学大学院での教育	7
2 ゼミ	8
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	2
5 アルバイト	1
6 留学による経験	0
7 勤務先での研修	2
8 進学・専門学校	1
9 勤務先では重視されない	0



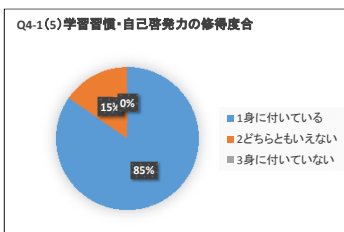
Q4-1(4)

1 身に付いている	10
2 どちらともいえない	3
3 身に付いていない	0



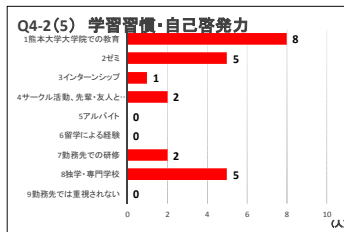
Q4-2(4)

1 熊本大学大学院での教育	6
2 ゼミ	6
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	2
5 アルバイト	0
6 留学による経験	0
7 勤務先での研修	2
8 進学・専門学校	3
9 勤務先では重視されない	0



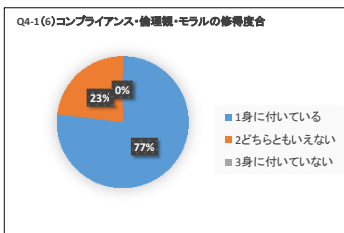
Q4-1(5)

1 身に付いている	11
2 どちらともいえない	2
3 身に付いていない	0



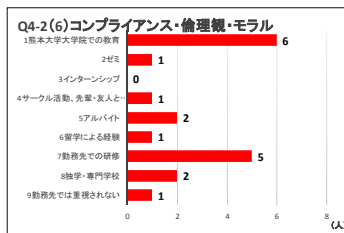
Q4-2(5)

1 熊本大学大学院での教育	8
2 ゼミ	5
3 インターンシップ	1
4 サークル活動、先輩・友人との交流	2
5 アルバイト	0
6 留学による経験	0
7 勤務先での研修	2
8 進学・専門学校	5
9 勤務先では重視されない	0



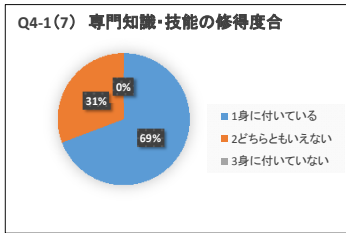
Q4-1(6)

1 身に付いている	10
2 どちらともいえない	3
3 身に付いていない	0



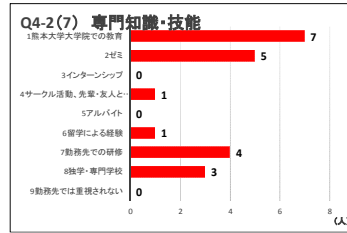
Q4-2(6)

1 熊本大学大学院での教育	6
2 ゼミ	1
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	1
5 アルバイト	2
6 留学による経験	1
7 勤務先での研修	5
8 進学・専門学校	2
9 勤務先では重視されない	1



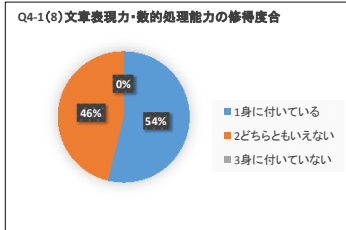
Q4-1(7)

1身に付いている	9
2どちらともいえない	4
3身に付いていない	0



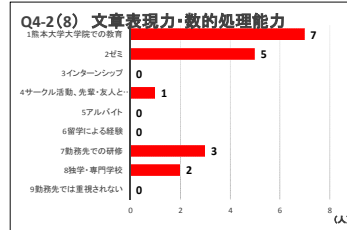
Q4-2(7)

1熊本大学大学院での教育	7
2ゼミ	5
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	0
6留学による経験	1
7勤務先での研修	4
8進学・専門学校	3
9勤務先では重視されない	0



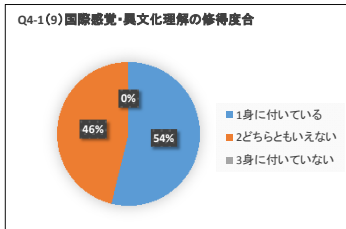
Q4-1(8)

1身に付いている	7
2どちらともいえない	6
3身に付いていない	0



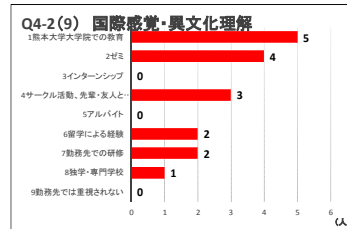
Q4-2(8)

1熊本大学大学院での教育	7
2ゼミ	5
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	3
8進学・専門学校	2
9勤務先では重視されない	0



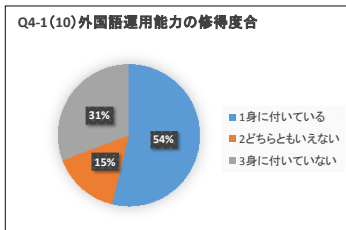
Q4-1(9)

1身に付いている	7
2どちらともいえない	6
3身に付いていない	0



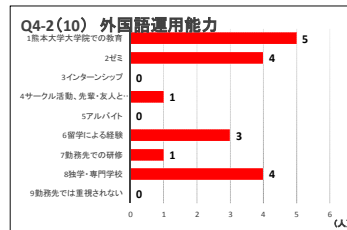
Q4-2(9)

1熊本大学大学院での教育	5
2ゼミ	4
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	3
5アルバイト	0
6留学による経験	2
7勤務先での研修	2
8進学・専門学校	1
9勤務先では重視されない	0



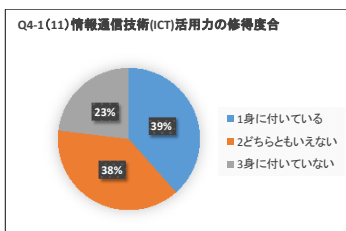
Q4-1(10)

1身に付いている	7
2どちらともいえない	2
3身に付いていない	4



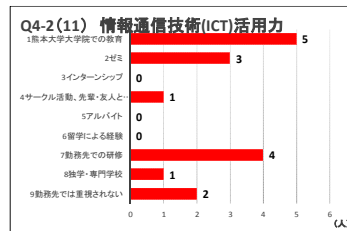
Q4-2(10)

1熊本大学大学院での教育	5
2ゼミ	4
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	0
6留学による経験	3
7勤務先での研修	1
8進学・専門学校	4
9勤務先では重視されない	0



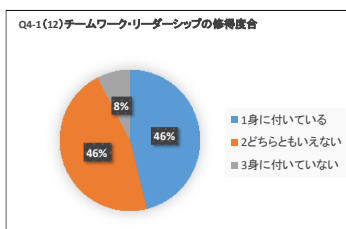
Q4-1(11)

1身に付いている	5
2どちらともいえない	5
3身に付いていない	3



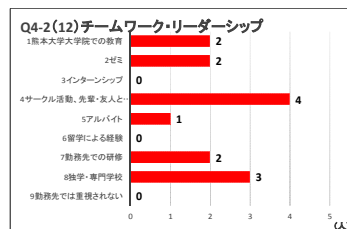
Q4-2(11)

1熊本大学大学院での教育	5
2ゼミ	3
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	4
8進学・専門学校	1
9勤務先では重視されない	2



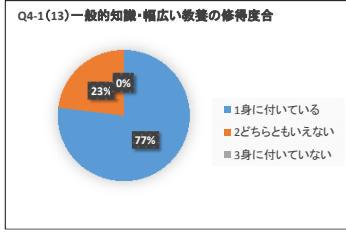
Q4-1(12)

1身に付いている	6
2どちらともいえない	6
3身に付いていない	1



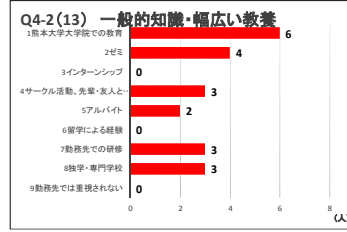
Q4-2(12)

1熊本大学大学院での教育	2
2ゼミ	2
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	4
5アルバイト	1
6留学による経験	0
7勤務先での研修	2
8進学・専門学校	3
9勤務先では重視されない	0



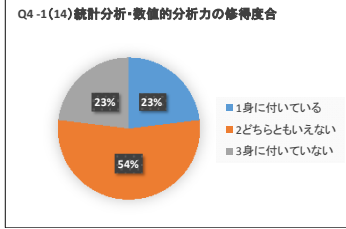
Q4-1(13)

1身に付いている	10
2どちらともいえない	3
3身に付いていない	0



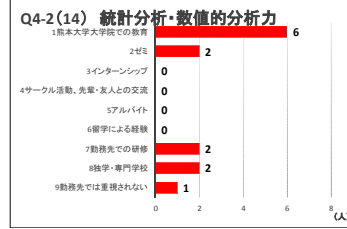
Q4-2(13)

1熊本大学大学院での教育	6
2ゼミ	4
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	3
5アルバイト	2
6留学による経験	0
7勤務先での研修	3
8独学・専門学校	3
9勤務先では重視されない	0



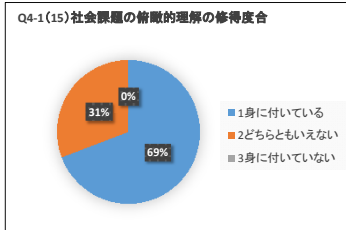
Q4-1(14)

1身に付いている	3
2どちらともいえない	7
3身に付いていない	3



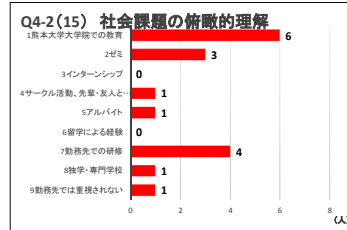
Q4-2(14)

1熊本大学大学院での教育	6
2ゼミ	2
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	2
8独学・専門学校	2
9勤務先では重視されない	1



Q4-1(15)

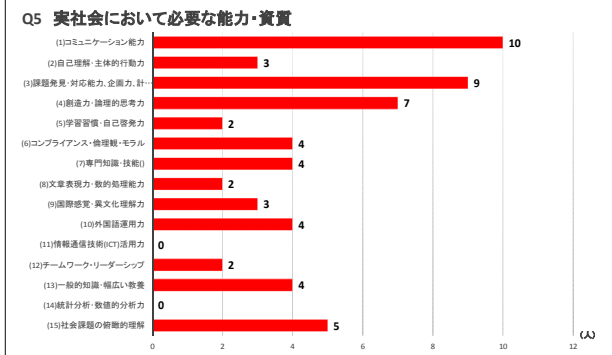
1身に付いている	9
2どちらともいえない	4
3身に付いていない	0



Q4-2(15)

1熊本大学大学院での教育	6
2ゼミ	3
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	1
6留学による経験	0
7勤務先での研修	4
8独学・専門学校	1
9勤務先では重視されない	1

Q5 Q4の表の(1)~(15)の能力・資質のうち、実社会における経験に照らして必要とお考えになるものについて、5つまでその番号をご記入下さい。



Q5

(1)コミュニケーション能力	10
(2)自己理解・主体的行動力	3
(3)課題発見・対応能力、企画力、計画力	9
(4)創造力・論理的思考力	7
(5)学習習慣・自己啓発力	2
(6)コンプライアンス・倫理観・モラル	4
(7)専門知識・技能①	4
(8)文章表現力・数的処理能力	2
(9)国際感覚・異文化理解力	3
(10)外国語運用力	4
(11)情報通信技術(GIT)活用能力	0
(12)チームワーク・リーダーシップ	2
(13)一般的知識・幅広い教養	4
(14)統計分析・数値的分析力	0
(15)社会課題の俯瞰的理解	5

Q6 Q4の能力・資質のほかに、社会人として必要と思うもの、大学院時代に身に付けておけばよかったこと、熊本大学大学院の学生に学生時代に身に付けて欲しいことや経験して欲しいこと等について

修了年度	社会人として必要と思うもの等
2004	フィジカルそしてメンタルの強さでしょうか。
2009	英会話の能力
2009	判例、判決等の評釈論文の情報収集力と論理的な理解、分析力を身に付けるために、ゼミやグループで事例研究を積んで欲しい。
2009	私は若いとき、大学で学びたかったが、かなわず退職後学ぶ事となった。従って、学びたいことを前向きに取り組むことが出来た。しかし、現役の若者にとってはその緊張感は乏しい。もっと前向きに生活してほしい。
2009	特にありません。
2009	・インターシップを文系の学生も学生時代に体験して欲しい ・留学経験は非常に役に立つので、学生時代に全員行かせるとうい
2011	学際的な課題発見、分析、研究能力。特に実学的なもの(地方の過疎化対策、地方の教育行政など)
2011	・プレゼン能力では、社会人として必須の感があります。在学中にゼミなどで、場数を踏むことが大切ではないかと思えます。・海外、それも電気や水も無いようなところへ行き、現地の人たちと生活を共にする経験をして欲しいと思えます。日本を見る目が変わると思えます。
2011	・人の話を聞く力 ・部下や後輩に「教える」力・人に伝える力 いずれも、忍耐力が必要なこと。様々な年代、人種と触れ合い忍耐力を身につけてほしい。
2011	社会人として入学したが、多くの社会人入学者は、単位をとるだけで、学生生活をしている。しかしグローバルな視野を持ち、探究心を持つためには、学生としての経験をもっとつめるようにした方がよい。海外研修や、自主ゼミ開催、学生間の議論の場など自主的にとりくむ姿勢が必要ではないか。
2011	忍耐力

Q7 有意義だったと思う授業について、またその理由

修了年度	有意義だったと思う授業
2004	学生だけのコミュニティーから離れ、地域の人々と接する機会を得ることができた授業(地域調査、インターシップ)は有意義でした。机上での理論と現実(実現可能性)との距離、実際に働く人・暮らす人々の思いを理解することがとても大事だと思えます。
2009	民訴のゼミのおかげで、民法の理解が深まった。特に物件・債権の授業において民訴法の関連知識を併せて身につけさせることで、理解が深まると考えます。
2009	(ゼミとインターシップ)ゼミは、自分の研究を自分が見つけ出し発表しなければならないので、真剣勝負であり、その意味は大きい。インターシップは、社会の最先端の研究情報を得ることが出来て、有意義であると思う。
2009	一般教養の授業。広く多分野について学ぶことができるため。
2009	文学部での英文学の講読のゼミ:現在は英会話やTOEICなど、日常で使用する浅い知識が偏重されているが、文学の授業では考える力、分析する力、内容を味わう力などが学べた。
2011	ゼミでの研究、分析。自ら課題を発見し、発表、討議、更には議論しながらアウフヘーベンできる。
2011	理論だけでなく実践モデルを取り入れていただいた授業はとても有意義だったと感謝しています。模擬授業を先生が見せてくださったり、学生でモデル授業を行ったりしたことは、即現場でも活かしています。
2011	メディアーションに関する授業は、その後の人間関係や、学生指導、教育、研修の場に変役に立ち、有意義だった。
2011	医療と法 I・II(〇〇先生)。現場をとりまく法について深く考えることができ、臨床現場での行動が大きく変わった。
2011	全て有意義でした。

Q9 教育を含め、熊本大学大学院全般にわたって意見等

修了年度	全般的な意見
2009	教育こそが、世の中の進歩を支える源であり、教育制度は今後も普遍的に残っていくべきものといえます。
2011	ゼミ時代の講義は大変、有益でした。現在も、実務を通して、常にあらたな課題を見つけ、その解決等に取り組んでいます。これも社文研の大学院生、先生方との出会いのおかげだと心から感謝いたしております。
2011	研究室の利用時間を広げてほしい。また、学生間で、フランクにコミュニケーションできる(出会いの場のような)場の提供を望みます。
2011	夜間、土日祝の授業開講はとてもありがたかったです。

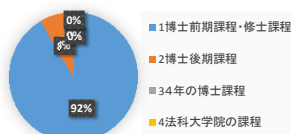
修了生アンケート
(自然科学研究科)

平成26年度実施修了生アンケート結果集計(自然科学研究科)

Q1 あなた自身について教えてください。

2. あなたが修了した課程について、該当する番号をご記入下さい。

Q1-2 修了課程

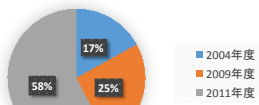


Q1-2

1 博士前期課程・修士課程	151
2 博士後期課程	14
3 34年の博士課程	0
4 法科大学院の課程	0

3. 修了年度を西暦又は和暦でご記入下さい。

Q1-3 修了年度

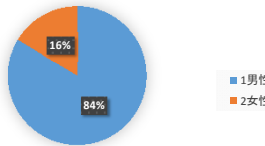


Q1-3

2004年度	28
2009年度	42
2011年度	95

4. 男性は「1」を、女性は「2」を記入して下さい。

Q1-4 性別



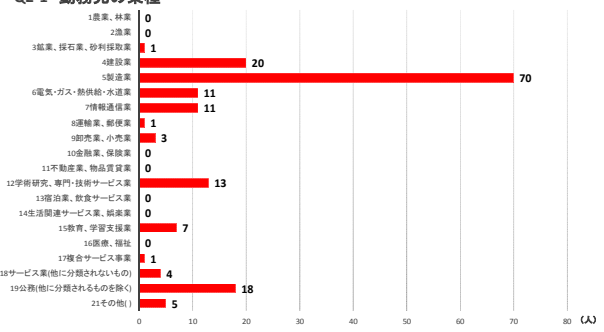
Q1-4

1 男性	138
2 女性	27

Q2 勤務先について教えてください。

1. 勤務先の主たる業種について、該当する番号をご記入下さい。

Q2-1 勤務先の業種

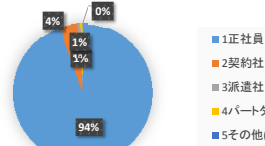


Q2-1

1 農業、林業	0
2 漁業	0
3 鉱業、採石業、砂利採取業	1
4 建設業	20
5 製造業	70
6 電気・ガス・熱供給・水道業	11
7 情報通信業	11
8 運輸業、郵便業	1
9 卸売業、小売業	3
10 金融業、保険業	0
11 不動産業、物品賃貸業	0
12 学術研究、専門・技術サービス業	13
13 宿泊業、飲食サービス業	0
14 生活関連サービス業、娯楽業	0
15 教育、学習支援業	7
16 医療、福祉	0
17 複合サービス事業	1
18 サービス業(他に分類されないもの)	4
19 公務(他に分類されるものを除く)	18
21 その他()	5

2. 勤務先での雇用形態について、該当する番号をご記入下さい。

Q2-2 雇用形態

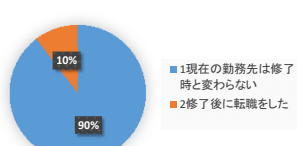


Q2-2

1 正社員	155
2 契約社員	7
3 派遣社員	1
4 パートタイム	1
5 その他()	0

3. 現在の勤務先について、該当する番号をご記入下さい。

Q2-3 転職の状況

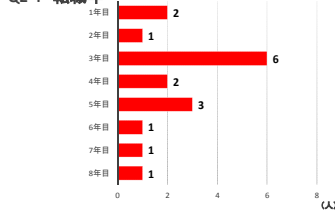


Q2-3

1 現在の勤務先は修了時と変わらない	147
2 修了後に転職をした	17

4. 修了後何年目で転職されたか、該当する番号をご記入下さい(複数回転職された方は、最初の転職について記入して下さい。)

Q2-4 転職年

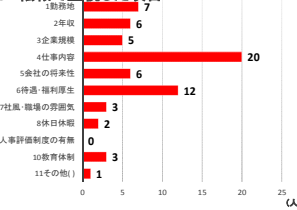


Q2-4

1年目	2
2年目	1
3年目	6
4年目	2
5年目	3
6年目	1
7年目	1
8年目	1

5. 転職で重視した項目について、該当する番号をご記入下さい(複数回答可)。

Q2-5 転職で重視した項目



Q2-5

1 勤務地	7
2 年収	6
3 企業規模	5
4 仕事内容	20
5 会社の将来性	6
6 待遇・福利厚生	12
7 社風・職場の雰囲気	3
8 休日休暇	2
9 人事評価制度の有無	0
10 教育体制	3
11 その他()	1

Q3 現在、熊本大学大学院は、次の表の(1)～(4)に掲げる、「大学院課程において修得すべき知識・能力(以下「大学院課程で修得すべき知識等」)」の修得を目的とする教育を実施しています。

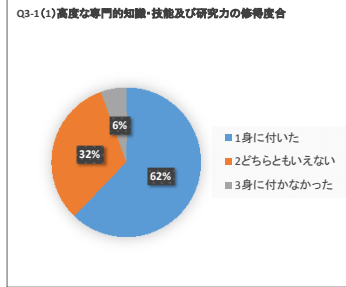
みなさまは、「大学院課程で修得すべき知識等」がまだ制定されていない時期の教育課程により修了されましたが、「大学院課程で修得すべき知識等」の修得を目的とする教育を受けて修了した学生と比較するためにお願いします。

1. 熊本大学大学院で受けた教育により、「大学院課程で修得すべき知識等」に相当する能力・実質がどの程度身に付いたか、について該当する番号を、表の「A3-1」欄にご記入下さい。

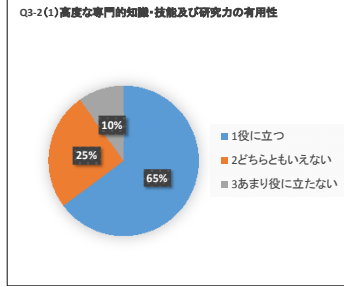
2. 実社会で読み直してこれた経験に照らして、「大学院課程で修得すべき知識等」は実社会においてどの程度役に立つか、について該当する番号を、表の「A3-2」欄にご記入下さい。

1 身に付いた 2 どちらともいえない 3 身に付かなかった

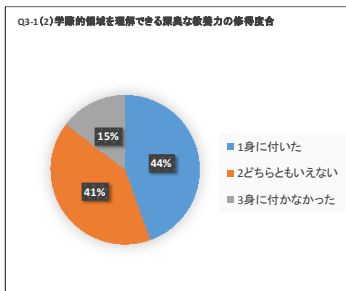
1 役に立つ 2 どちらともいえない 3 あまり役に立たない



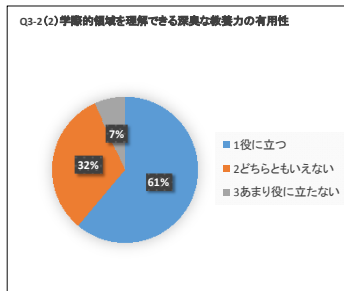
Q3-1(1)		
1身に付いた		102
2どちらともいえない		53
3身に付かなかった		9



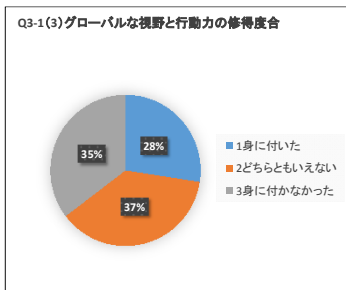
Q3-2(1)		
1役に立つ		105
2どちらともいえない		41
3あまり役に立たない		16



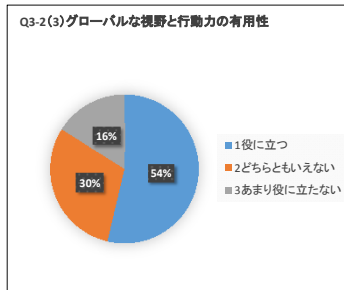
Q3-1(2)		
1身に付いた		73
2どちらともいえない		67
3身に付かなかった		24



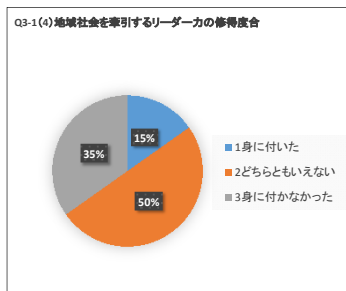
Q3 A3-2(2)		
1役に立つ		99
2どちらともいえない		52
3あまり役に立たない		11



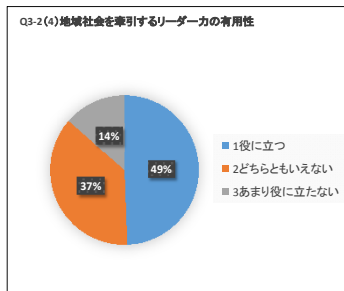
Q3-1(3)		
1身に付いた		45
2どちらともいえない		61
3身に付かなかった		58



Q3-2(3)		
1役に立つ		87
2どちらともいえない		49
3あまり役に立たない		26



Q3-1(4)		
1身に付いた		25
2どちらともいえない		82
3身に付かなかった		57



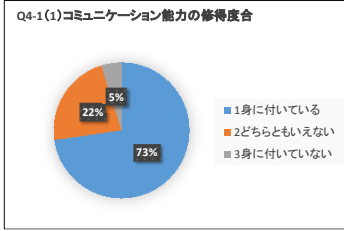
Q3-2(4)		
1役に立つ		80
2どちらともいえない		60
3あまり役に立たない		22

Q4 次の表に掲げる能力・資質は、中央教育審議会等や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を顕微化したものです。貴社での経験に照らしてお答えください。

1. 次の表の(1)～(6)の能力・資質を身に付けているか、について該当する番号を後の「A4-1」欄にご記入下さい。なお、(7)については、具体的な能力・資質について括弧内にご記入下さい。

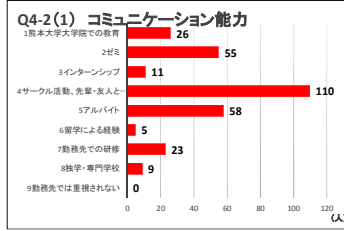
2. 次の表の(1)～(6)の能力・資質を身に付けるのに何が役に立ったか、について該当する番号を後の「A4-2」欄にご記入下さい(複数回答可)。

1 身に付けている 2 どちらともいえない 3 身に付けていない



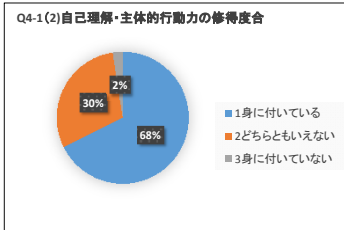
Q4-1(1)

1身に付けている	120
2どちらともいえない	37
3身に付けていない	8



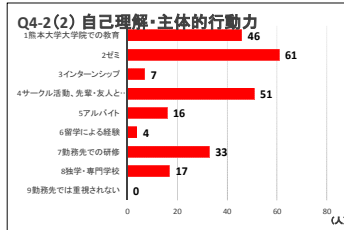
Q4-2(1)

1 熊本大学大学院での教育	26
2ゼミ	55
3 インターンシップ	11
4 サークル活動、先輩・友人との交流	110
5 アルバイト	58
6 留学による経験	5
7 勤務先での研修	23
8 進学・専門学校	9
9 勤務先では重視されない	0



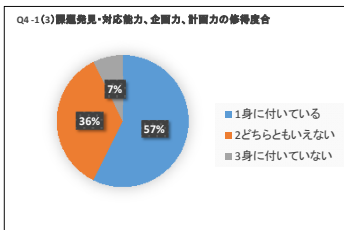
Q4-1(2)

1身に付けている	111
2どちらともいえない	49
3身に付けていない	4



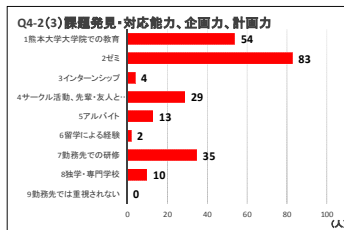
Q4-2(2)

1 熊本大学大学院での教育	46
2ゼミ	61
3 インターンシップ	7
4 サークル活動、先輩・友人との交流	51
5 アルバイト	16
6 留学による経験	4
7 勤務先での研修	33
8 進学・専門学校	17
9 勤務先では重視されない	0



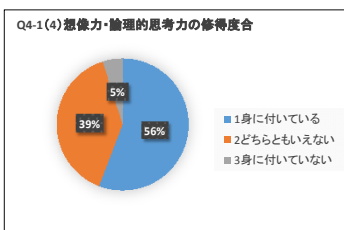
Q4-1(3)

1身に付けている	94
2どちらともいえない	58
3身に付けていない	12



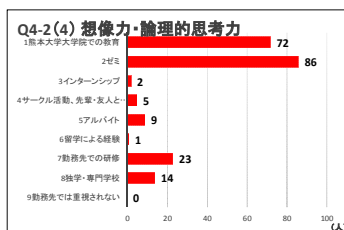
Q4-2(3)

1 熊本大学大学院での教育	54
2ゼミ	83
3 インターンシップ	4
4 サークル活動、先輩・友人との交流	29
5 アルバイト	13
6 留学による経験	2
7 勤務先での研修	35
8 進学・専門学校	10
9 勤務先では重視されない	0



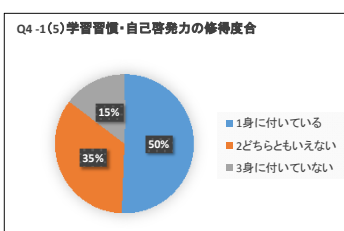
Q4-1(4)

1身に付けている	91
2どちらともいえない	64
3身に付けていない	8



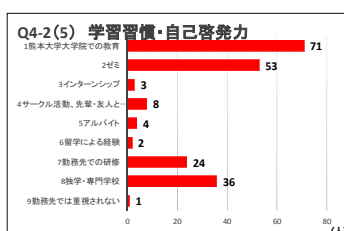
Q4-2(4)

1 熊本大学大学院での教育	72
2ゼミ	86
3 インターンシップ	2
4 サークル活動、先輩・友人との交流	5
5 アルバイト	9
6 留学による経験	1
7 勤務先での研修	23
8 進学・専門学校	14
9 勤務先では重視されない	0



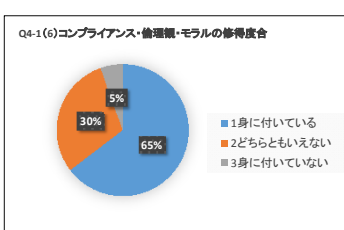
Q4-1(5)

1身に付けている	83
2どちらともいえない	57
3身に付けていない	24



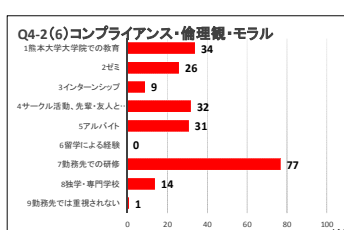
Q4-2(5)

1 熊本大学大学院での教育	71
2ゼミ	53
3 インターンシップ	3
4 サークル活動、先輩・友人との交流	8
5 アルバイト	4
6 留学による経験	2
7 勤務先での研修	24
8 進学・専門学校	36
9 勤務先では重視されない	1



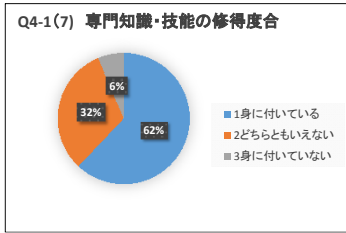
Q4-1(6)

1身に付けている	106
2どちらともいえない	49
3身に付けていない	9

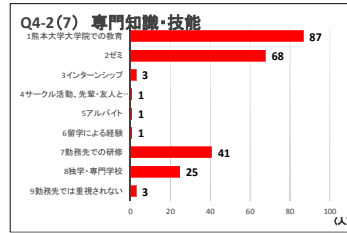


Q4-2(6)

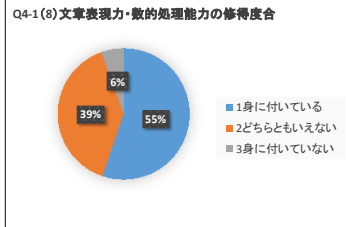
1 熊本大学大学院での教育	34
2ゼミ	26
3 インターンシップ	9
4 サークル活動、先輩・友人との交流	32
5 アルバイト	31
6 留学による経験	0
7 勤務先での研修	77
8 進学・専門学校	14
9 勤務先では重視されない	1



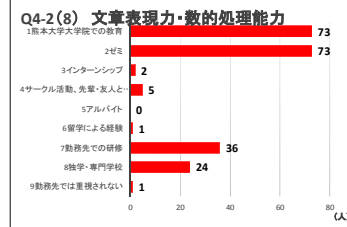
1身に付いている	98
2どちらともいえない	50
3身に付いていない	10



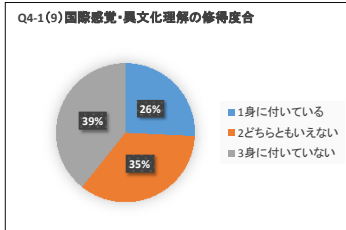
1 熊本大学大学院での教育	87
2ゼミ	68
3インターンシップ	3
4サークル活動・先輩・友人との交流	1
5アルバイト	1
6留学による経験	1
7勤務先での研修	41
8進学・専門学校	25
9勤務先では重視されない	3



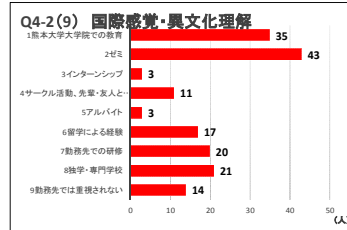
1身に付いている	90
2どちらともいえない	64
3身に付いていない	9



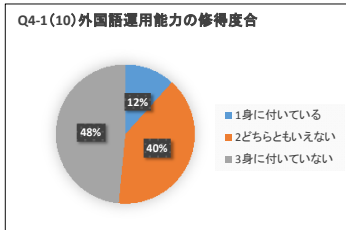
1 熊本大学大学院での教育	73
2ゼミ	73
3インターンシップ	2
4サークル活動・先輩・友人との交流	5
5アルバイト	0
6留学による経験	1
7勤務先での研修	36
8進学・専門学校	24
9勤務先では重視されない	1



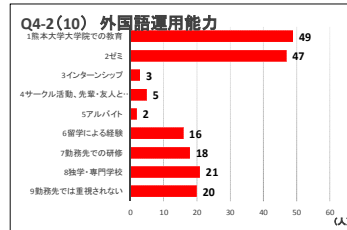
1身に付いている	42
2どちらともいえない	57
3身に付いていない	64



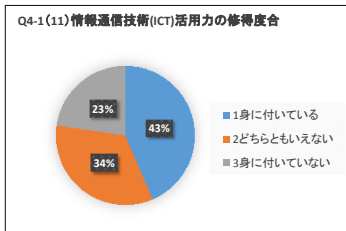
1 熊本大学大学院での教育	35
2ゼミ	43
3インターンシップ	3
4サークル活動・先輩・友人との交流	11
5アルバイト	3
6留学による経験	17
7勤務先での研修	20
8進学・専門学校	21
9勤務先では重視されない	14



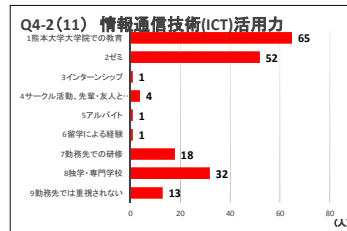
1身に付いている	19
2どちらともいえない	65
3身に付いていない	79



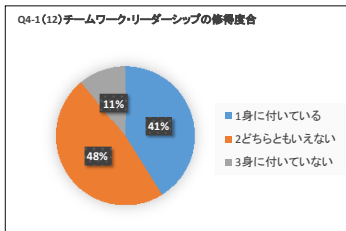
1 熊本大学大学院での教育	49
2ゼミ	47
3インターンシップ	3
4サークル活動・先輩・友人との交流	5
5アルバイト	2
6留学による経験	16
7勤務先での研修	18
8進学・専門学校	21
9勤務先では重視されない	20



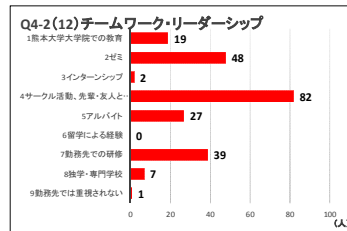
1身に付いている	71
2どちらともいえない	55
3身に付いていない	37



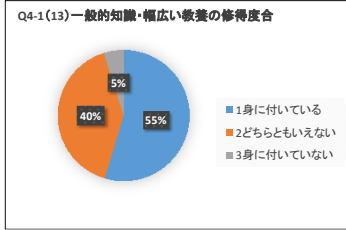
1 熊本大学大学院での教育	65
2ゼミ	52
3インターンシップ	1
4サークル活動・先輩・友人との交流	4
5アルバイト	1
6留学による経験	1
7勤務先での研修	18
8進学・専門学校	32
9勤務先では重視されない	13



1身に付いている	67
2どちらともいえない	78
3身に付いていない	18

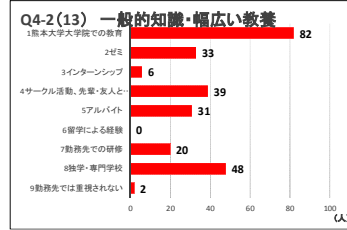


1 熊本大学大学院での教育	19
2ゼミ	48
3インターンシップ	2
4サークル活動・先輩・友人との交流	82
5アルバイト	27
6留学による経験	0
7勤務先での研修	39
8進学・専門学校	7
9勤務先では重視されない	1



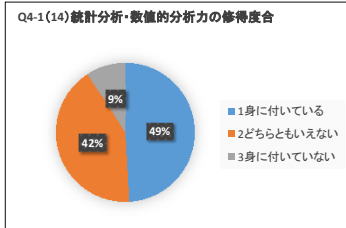
Q4-1(13)

1身に付いている	89
2どちらともいえない	66
3身に付いていない	8



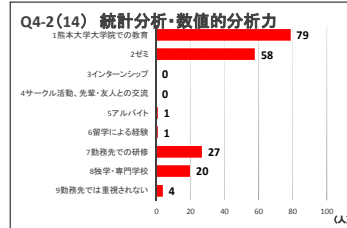
Q4-2(13)

1 熊本大学大学院での教育	82
2 ゼミ	33
3 インターンシップ	6
4 サークル活動、先輩・友人との交流	39
5 アルバイト	31
6 留学による経験	0
7 勤務先での研修	20
8 独学・専門学校	48
9 勤務先では重視されない	2



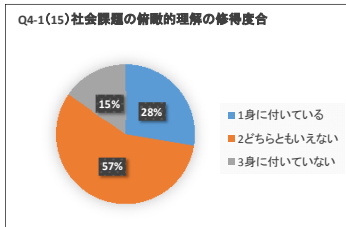
Q4-1(14)

1身に付いている	80
2どちらともいえない	68
3身に付いていない	15



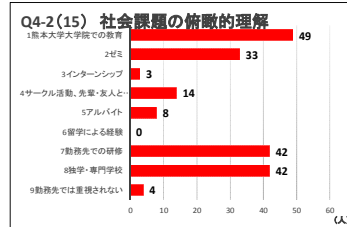
Q4-2(14)

1 熊本大学大学院での教育	79
2 ゼミ	58
3 インターンシップ	0
4 サークル活動、先輩・友人との交流	0
5 アルバイト	1
6 留学による経験	1
7 勤務先での研修	27
8 独学・専門学校	20
9 勤務先では重視されない	4



Q4-1(15)

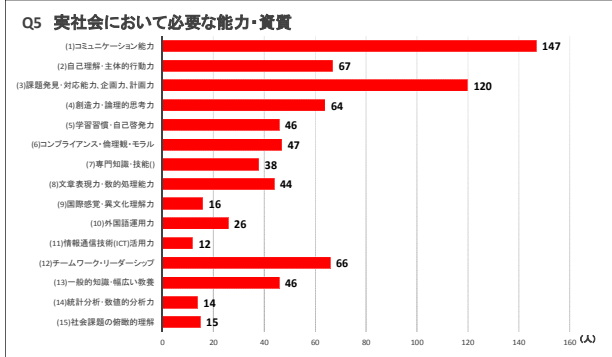
1身に付いている	45
2どちらともいえない	93
3身に付いていない	25



Q4-2(15)

1 熊本大学大学院での教育	49
2 ゼミ	33
3 インターンシップ	3
4 サークル活動、先輩・友人との交流	14
5 アルバイト	8
6 留学による経験	0
7 勤務先での研修	42
8 独学・専門学校	42
9 勤務先では重視されない	4

Q5 Q4の表の(1)～(15)の能力・資質のうち、実社会における経験に照らして必要とお考えになるものについて、5つまでその番号をご記入下さい。



Q5

(1) コミュニケーション能力	147
(2) 自己理解・主体的行動力	67
(3) 課題発見・対応能力、企画力、計画力	120
(4) 創造力・論理的思考力	64
(5) 学習習慣、自己啓発力	46
(6) コンプライアンス・倫理観・モラル	47
(7) 専門知識・技能	38
(8) 文章表現力・数的処理能力	44
(9) 国際感覚・異文化理解力	16
(10) 外国語運用力	26
(11) 情報通信技術(ICT)活用能力	12
(12) チームワーク・リーダーシップ	66
(13) 一般的知識・幅広い教養	46
(14) 統計分析・数値的分析力	14
(15) 社会課題の俯瞰的理解	15

Q6 Q4の能力・資質のほかに、社会人として必要と思うもの、大学院時代に身に付けておけばよかったこと、熊本大学大学院の学生に学生時代に身に付けて欲しいことや経験して欲しいこと等について

修了年度	社会人として必要と思うもの等
2004	大学では学問を学ぶところなので(7)(10)(14)(15)はしっかり学びたかった。こちらがどれだけ真剣に学習に取り組んでも、授業の下手な教授ばかりで何も得られるものがなかった。もちろんその教授たちを見限って自己学習してに大学を修了したことで、地力は付いたと思う。
2004	協調性(チームで仕事をする場合が多いため、その時の自分の立場にあった役割の理解、その中でも自分の個性を発揮できる能力。)
2004	学部での教育を使える力
2004	地域、一般社会の中での課題解決力
2004	学内でもしくは、学外なら地域企業を巻き込んだりして、イベントを企画、運営する経験。主体性をもってやらなかったのが今思うと、学生時代しか自由に出来ないのでもいい機会と思います。特に早くから社会人と接点をもったほうが良いと思います。
2004	英語力
2004	英語力
2004	積極性、肯定的、未来志向的な考え方、メンタルタフネス
2004	どの学生も、技術的難易度が高い研究テーマに対して、2年間以上集中して取り組める環境を、大学及び先生方に整えていただきたい。
2004	コミュニケーション能力。どのような職場でも自らの意見を伝えると同時に相手を尊重し仕事を進めることは必要不可欠。
2004	勉学、研究はもちろん、プライベートの行動やすごし方について自分で主体的に考えいろんな経験を得ること、主体的に楽しむこと。
2004	外国語を話し、聞く能力
2004	・スケジュール管理能力(決められた時間の中で、ノルマを達成していくこと)
2004	語学力(英語)
2004	ストレス耐力。最近の学生さんにはストレス耐性が低い人が多いように見受けられる。
2004	段取り能力。他者との調整能力。
2004	どの職場においても仕事の基本となるのはコミュニケーションであり、大学院では対外的なコミュニケーションの場(他学部、企業等)やプレゼンテーションの機会を多く設けていただきたい。
2004	・学会発表をもっとやれば良かった(特に国際学会)
2009	社会に出た後で必要になる知識などはさまざまなのでその必要なタイミングで学ぶ意欲が必要だと思う。なので研究室などでそのようなことを経験したらよいと思う。
2009	貴重な学生時代の時間(人生で一番自由な時間?)であるため、勉強するのも、遊ぶのも何事も真剣に取り組んで欲しい。経験こそが血となり肉となるため。また、多くの人と関わって欲しい。これからの人生も人と関わらずには、生きていけないため。
2009	コミュニケーション能力をもっとみがくことができればよかった。
2009	コミュニケーションにおいて、同じ言葉や表現を用いても、その解釈は受け手次第で異なってくること。
2009	財務、お金に関する数字の意味。莫大な資料を短時間で処理する能力(事務能力の向上)エクセルマクロを作成できる技術、安全工学。
2009	社交性
2009	自分はこれをやり遂げたという成功体験を何でもよいので、1つしてほしい。環境や社会情勢により求められる能力・資質は変化していくため、どんな時も自分を信じて行動できるよう、自分を肯定できるための経験をしてほしい。
2009	外国留学を経験してほしい。企業見学を多くしてほしい。
2009	責任感と協調性
2009	友人、知人の友人とでも対話できるコミュニケーション力。実社会においてよそのコミュニティーとの交わりも必要であり、自己のコミュニティーにこだわらず視野を広く持って欲しい。
2009	自分の専門外の環境・分野に身をおいてみること。そこでの対応力が役立つと思います。

2009	必要と思うもの…思いやりの心と国際人としての知識・自覚。 経験して欲しいもの…留学(是非行ったほうがよい)
2009	コミュニケーション能力。サークルやアルバイト等で世代を超えた交流をしていただきたい。
2009	明確な将来ビジョンを持って、学業に専念すべき。
2009	課題を解決するのに長けている人は多い。しかし、現状(日本の)をどう改善していくのかを、自分の立場で考える力がある人は少ない。昭和の後半、日本を造ってきた先輩方のように「大学卒業後は〇〇をして社会に貢献する。」と心から思い、発言できる力を身につけて欲しい。
2009	・レポートの作成力 ・自分の意見を公の場で発言できること ・論理的思考を養い、それを発言したり文章にまとめる力
2009	問題発見力とその解決力
2009	「お金」の扱い方について
2009	社会人にはコミュニケーション能力が大事だと思いました。
2009	・海外経験:自ら手を上げて、海外学会、留学に積極的に行ってほしい。社会人は、自ら望んで海外に行けるチャンスは減ってしまう。 ・統計分析:性能・強度・安全性などの保証は統計分析を元に行われる。統計的思考は社会人として必須である。
2009	・英語、論理的思考、日本語を正しく使う能力
2009	大学院ではたくさんの学会に出て、プレゼンテーション慣れする事が大事。
2009	理系学科の学生の留学、ボランティア活動、学生会の活動
2009	留学経験を義務化し、語学力及び国際的なコミュニケーション力を付けるべきだと強く感じている。
2009	チームで世の中に役立つものを作ることを複数回経験すること。
2009	・英語は必須です。TOEICは英語力を計る指標でしかありません。TOEICができるから、英語が話せるわけでもないですが、英語を勉強するきっかけにはなりません。強制ではなく、異文化に接する機会を設けるなどして勉強するトリガーとしてみてはいかがでしょうか。 ・ビジネスリテラシーは単位として必要です。時代を感じ、どのように対応するかを大学時代に考える事は就職活動にも大きく影響すると思います。
2009	忍耐力、社交性、学習継続力、論理的思考、課題解決プロセスの理解、コミュニケーション力、趣味、体力、健康管理、ICT知識
2009	マナー、文章力、向上心、要約術、図解、QC検定/PCの使い方(エクセル・ワードなど)
2011	幅広い年代とのコミュニケーション
2011	・英会話スキル
2011	・責任感 ・例えば時間内には完成できないと分かっている場合にどこまでを仕上げるか等の考える力(判断力)
2011	コミュニケーション能力や課題発見、解決能力は本当に必要だと感じています。その単体の能力それぞれではなく、それら複合的に発揮出来なければ、社会では通用しないと思うので、大学院時代にもっと、そのような場で経験をつみたかったなと思います。
2011	Q4表の全てが身につけば、十分であると感じます。
2011	人への気遣い
2011	上司や先輩は10歳以上も年上であることが当たり前のため幅広い年代の人と話す癖をつけておくのと良いと思う。私自身は学部で学んだ専門知識を忘れてしまっている部分が多いため復習する必要があると感じている。
2011	学内に限らず、学外や地域の人々等多くの人々と触れ、話す能力
2011	物事に関して、失敗した時にどう対処するかをもっと学生時代に身に付けておきたかったです。学生と社会人では責任感が異なるので、社会人1~2年目は責任感が大きなストレスになったので、大学院でもっと対外的に仕事を体験できたらいいかなと思います。
2011	文章表現力はかなり大事だと考えています。あとは会社は利益を求める会社なので、自分には投資してもらわなければならないので、いかに自分を表現するかが大事です。
2011	特になし。
2011	国際学会に出席したことはありましたが、留学等長期滞在による英語力向上を図りたかった。
2011	コミュニケーション能力と外国語技能

2011	実社会での技能、CAD・イラストレーター等
2011	情報収集力(ニュース、新聞等)、言葉遣い、飲み会での対応
2011	海外留学。リーダーシップを発揮して、周りを巻き込んだ活動をする。
2011	自分の意見は外に出し伝えることが重要である。基本的には論理的に仕事をしていくことで、何をしたいか、何をすべきかが明確になる。学生には、積極的な発言と論理的思考をもって欲しい。
2011	専門知識
2011	幅広い年齢層の方々(特に年上)との深い交流
2011	社会人として必要と思うもの: 能動的に動ける行動力。留学して、語学力の向上、異文化理解を深めて欲しい。
2011	ロジカルシンキングとインバスケ思考、基本的なワープロ、表計算、データベース処理
2011	・自分の考えを他人に伝えられる能力(論理的に、短く)
2011	自分の専門以外の分野の勉強
2011	Q4以外に社会人として必要…情熱、体力、ストレス耐性、社会人常識。大学院で見に付けておきたかった…分かりやすく論理的に文章を書く方法(名刺交換仕方等)。身に付けてほしいこと…論理的思考、分かりやすい文章、人との円滑なコミュニケーション法、自己理解、将来への夢や計画、それに対する準備。
2011	実務経験
2011	スケジュールを作って、その進捗管理を行う癖を付ける事。
2011	コミュニケーション力、ビジネスマナー(一般常識)、英語(会話)、課題解決能力、PDCAサイクルの実践
2011	自分が将来就くであろう職業に対する、深い知識と理解、と覚悟、いかなる状況下でも、主体性を持つこと(自分の責任でやること)
2011	一般的な道徳
2011	就職して働く業界によって違うと思いますが、建築・建設業界では特に必要であったと感じることはありません。元気があれば知識・経験がなくとも何とかなると感じています。
2011	自己解決能力。困難を課題でも解決策を自力で模索し、解決に導く能力。
2011	・異文化との交流 ・外国人とのコミュニケーション(積極的な) ・英語力(会話力)～外国人の友達を作る
2011	1つ1つの授業でも表面だけでなく、何故そうなるかなど、奥深い理解をしておくことが大切だと思う。会社では、製品を作るときにおきる現象を説明する力が問われるため、深く知る習慣を身につけておけばよかったと考えている。
2011	なし。
2011	広い視野、自分の専門から少し外れた知識、好奇心
2011	英語(特にリーディング)
2011	・語学力(英語)・ 経済(お金)に関する知識
2011	技術的文書
2011	私は現在、情報システムの設計業務をしており、日々新しい事にチャレンジしています。学生時代では、教科書通りの事をこなせば、正解にたどり着いていましたが、社会人である今は「仕事における正解」が掲載されてある教科書など存在しません。そういった社会人生活をなるべく苦しまずに送るには、学生時代に研究やレポート課題等で「考える力」を大いに養うべきだと思います。
2011	研究活動を通したプロジェクト活動。
2011	学習習慣を身に付けて欲しい。
2011	体育会系の部活の縦社会
2011	資格について、就職希望先に対応したものを1つでも多く取得しておくべきだと感じた。入社後にバックアップがある会社も多いが、仕事をしながらだとハードであるし、他の勉強をやる時間も必要になる。
2011	自動車工学。その学部の勉強だけでなく、幅広い知識や経験を身につけておくべきだと思う。
2011	知識の実践に慣れさせること。テストの点だけ良くてもしょうがない。研究などを通し、「問題はなにか」「解決に必要なものはなにか」「理論をどう適用するか」を考えさせるべき。
2011	課題解決能力、論理的思考と即実行、行動に移すこと
2011	・文章能力(手書き) 大学時代はほぼPCなので、手書きの時に漢字が書けなくなる。 ・幅広い知識 専門分野以外にも幅広く知識を持っていれば、後で役に立つ。

2011	コミュニケーション能力はどんな会社に行っても必要なので高めていると非常によい。
2011	Q4の能力があれば充分。
2011	・課題解決力: 自分の力で調べ、試行錯誤して成長できるから。・コミュニケーション力: 人との関わりが非常に大切。関係をよくする能力だから。
2011	専門分野(専攻)についての一步実務に踏み込んだ知識。可能であれば1つの細分された分野のみでなく、2・3の分野についての専門知識。
2011	現在は、年の離れた先輩社員の方と働く機会が多いので、もっと学生のうちに、先生方以外で年の離れた方と接しておけばよかったと思う。また、スケジュール管理なども研究室にいる時からきっちりできるように練習しておくべきだったと思います。
2011	自己分析をしっかり行う。
2011	コミュニケーション能力
2011	勤務先では英語学習を強化しているので、学生のときにもっと勉強できていればと思いました。
2011	理学部・地学系でもインターンの機会を増やし、社会で自分がどう生きてゆくのかをイメージできる機会を確実に持ってほしい。
2011	自分の専門外の高度な一般知識を学ぶ機会がもっとあればよかった。
2011	英語
2009	「コスト・品質・日程」感覚、品質工学
2011	知らない人との交流力
2011	議論する能力、論理的思考能力
2011	自分の気持ちを良い方向へ持っていく方法を身につけておくことは、非常に重要だと思う。合わない同僚や上司がいるとき、しかられた時、うまく物事が運ばないときに気持ちの切り替えが出来るのか否かで、社会で生きていけるか、ドロップアウトするかが、決まると感じている。
2011	指導力は必要であると感じています。Teaching assistantの経験と学外での中学生、高校生への実験指導などをカリキュラムの中へ組み込んだらいいと思います。
2011	大学院は、勉強や研究をするところ。職業訓練学校ではない。
2011	わかりやすい文章を作る力をもっと身につけておけばよかったと思う。
2011	英語などの語学力

Q7 有意義だったと思う授業について、またその理由

修了年度	有意義だったと思う授業
2004	大学の講義は全て有意義だが、とにかく教授たちの講義が下手。これに限る。せっかく熊大の門を叩いた全ての学生の才能を無駄にしていると思う。
2004	研究型インターンシップ 一人で大阪大学に行き、〇〇工業と共同で実験を行う実習、他大学の学生、社会人とコミュニケーションをとる経験が出来たため。
2004	力学、統計学。仕事で今でも使うから。
2004	設計コンペ、建築史
2004	理学部だったけど、工学部のコア。高校のときは、工学部のことは全く意識していなかったが、物質工学、建築、どれも新鮮で面白かった。あと、仏語の〇〇先生の授業は、毎日モチベーションの高くなる素晴らしいものでした。
2004	ゼミ
2004	〇〇先生の論理回路のご講義。(2007年に受講)単に教科書の解説とならず、ご自身の言葉で分かりやすく教えていただき、興味を持って学習に取り組むことができた。
2004	語学…TOEIC等、なんらか必要になる。一般教養…少人数の“考えるテーマについて調べ話し合うという”経験は、他人の考えを聞くうえで重要と思った。色々な見方を知ることが出来る。論理式・情報基礎…論理的に考える基礎。
2004	特になし。
2004	化学実験…時間を比較的多くもらえた中で、失敗した時に思考することで、1歩1歩成功に近づいていく感覚が得られた。
2004	化学全般の講義。環境行政に関する業務に携わっているが、化学に関する知識が必要な場合があり、役に立つ。

2004	・FPGAを使用した回路作成全般 ・KITEプロジェクト。実際にシステム設計を行う講義は実践的で役立つ。
2009	研究室での活動全般。学びながら研究を続けることは今の仕事にも通じるものがあると思う。
2009	チームで作業するような授業(MOTコースの課題など)。どんな職業でも、人と力を合わせて仕事を行う。自分がチームにとってどのような役割を任うのか、チームに貢献するには、メンバーを納得させるには、など多くを学べるため。
2009	超臨界流動体特論。超臨界がどのようなところに使われているか分かったから。
2009	全ての授業において自らが主体的に行動し、望むことが重要であると感じさせて頂きましたことが理由です。全ての授業が有意義でした。
2009	腐食、防食、破壊力学、構造力学、組織学。製造業は機械装置の維持業務を担うことが多い。特に安全について社で取り組んでいる為、保全に関する知識は現在役に立つ。
2009	特になし。
2009	卒業研究。講義の空き時間を自分で計画を立てる点、到達点は教授に導いてもらうのが基本的には自分が努力した分だけしか到達できない点、研究室の先輩、後輩等と協力をして進める点など多くの点で学ぶべき点があるため。
2009	ゼミ
2009	一貫で半導体製造の上流から下流までを学べたこと。進む業界が決まっていればとても有意義だった。
2009	確立統計。製造業において、良品・不良品の発生確率など、毎日使ってもおかしくなく必須の教育だと思うため。
2009	教職の授業。どんな分野であっても必要となる見方だと思う。
2009	情報の授業。PCの使い方を一から教えていただき助かった。(私が中高時代はまだ情報の授業が必修化されていなかったため。)
2009	他学部の授業(教養科目)、専門教育以外の授業
2009	特に無し。
2009	信号処理関連の講義
2009	PCのアーキテクチャに関する授業、プログラミング。開発するため。
2009	熊本大学理学部はカリキュラムが変更になり、そのため専門性が低下したと感じます。
2009	MOT特別教育コースが非常に有意義だった。MOT自体で学んだことも重要だが、MOTIによって自ら学ぶ姿勢が身に付いたことと、何を学ぶべきかが分かったことが非常に大きい。熊本大学大学院としてもPRしてもよいと思う。
2009	・技術者倫理。会社、自分を守るためには、最低限の倫理が必要。
2009	研究室での生活がとても有意義でした。学会にたくさん出させてもらったので。
2009	実習や実験:就職後はなかなか実施する機会がないため。
2009	インターンシップ、留学
2009	なし。研究室での生活でどれだけ自分を高められるかが重要。
2009	修士前期課程2年間の研究です。私は〇〇教授の下で多くの課題解決にチャレンジさせていただきました。またコンピュータプログラミングによって、急速に変化するソフトウェアの社会に興味を持つことができ、オブジェクト指向という、日本人にはない考え方が出来る様になり、海外でのビジネスでも役立っています。
2009	覚えていない。
2009	体育系—コミュニケーション、体を動かす習慣
2011	ゼミプレゼン。相手の想像以上の知識、勉強などの必要性が身についた。
2011	研究室での活動は、問題発見や解決する事に対して有意義だったなと思います。
2011	研究活動が最も有意義でした。担当教授が私の意向、適性を理解してくれており、私の企画・報告に対して適切な指導をいただきました。現在の業務において、考える力の源となっています。
2011	教養の授業。音楽や映画、オペラ鑑賞等をした。普段観ないのだが、社会に出て年配の方と話すときなど、教養として知っておくと話の幅が広がる。
2011	国際学会への参加経験。実社会では中々出来る経験ではないと思う。
2011	建築学概論 学部時代には、及ばなかった深い専門知識を基に議論を進めるため、考えをまとめ意見を発信する能力が身についたと思うから。
2011	受けた授業は全て有意義でした。私は出席もきちんとしていた方だと思うので、大学・大学院で受けた授業は、今の自分にとってとても重要な時間であったと思っています。

2011	大学1年の時の基礎セミナー(?), 少人数制の奴は、皆が参加でき、色々考えることが出来るため、是非多く導入したほうがいいと思います。
2011	専門科目
2011	①修士1年時の流体工学(〇〇教授) 学生一人ひとりに別々の課題が与えられ、教科書等には載っていない流体設計をしたため、考え抜く力が養われました。②電子工学実習 ①同様に考え抜く力が養われたため。
2011	4年～修士2年までの研究室での生活が非常に有意義だった。専門知識、学習習慣、仕事の段取り等、様々なことを学ぶ事が出来た。
2011	学科の枠を超えた集中講義等です。実際に社会で活躍されている方が講演されていたので、大変実践的で勉強になりました。
2011	情報基礎
2011	4力の専門。通常の設計を行うときに用いるため。まずは手計算で目星をつけるのに使う。
2011	研究室での生活全体が、とても有意義だったと思います。それは学問だけではなく、実社会に出てからの体験談や必要になるだろう要素の話をたくさん教えていただいたからです。
2011	特に無し。研究活動をしっかり行うことが重要。
2011	国際学会に出たこと。
2011	大学院の授業全般は、論理的思考や知識を身に付けるのに役立った。特に、論理思考力、創造力を身に付けるのに役立ったこととして、卒業論文作成やそのための実験、学会での発表があります。非常によい経験になりました。
2011	MOT。コンセプト発見能力を養うことができた。
2011	修論
2011	私は建築設計の修士を得ましたが、研究室のゼミにおいては、多角的で有意義でしたが、こと授業に関しては、あまり意義を感じられませんでした。その要因は、教授達の独自性が強すぎるからだと思います。もっと同じ建築の中でも、横断的に授業を展開するべきだと思います。
2011	授業ではなく研究室での文章、発表資料の作成
2011	教育心理学。自身のコンディションや、対人関係の問題集、実社会においても頻繁に直面する状況での、行動のヒントが得られた。
2011	環境への有害物質に対する授業また、その測定方法に関して、(分析化学、環境軽量化学、ISO14001)理由:どのメーカーでも環境への配慮は欠かせないため。それらの知識があることは必ず役に立つ。全ての会社に共通して、役立つ知識のため。
2011	授業ではないが、学会に出ることは非常に意味のある経験だと思う。プレゼン能力、自己表現力など会社で要求される場面が多く、大学院での研究中にゼミや、学会で行ったプレゼンの練習が今大変役立っている。
2011	ゼミでの研究。自ら考え学ぶ姿勢を身に付けることができたから。
2011	全ての講義に価値がある。今、必要なくても、人と話すための引き出しにはなる。
2011	〇〇教授(文学部)の心理学の授業。今まで考えたことがなかった霊などについて新しい考え方を教えていただいたため。
2011	大学院の生活では、研究活動が最も有意義でした。Q6にて記述したように、社会人生活では「考える力」を求められます。研究活動では、誰も知らない解を、失敗に恐れることなく、自分自身の力で追求できたよい機会だったと思います。
2011	授業で学ぶ事を活用する事はあまりない。
2011	電力システム概論。業務に関係が深いため。
2011	専門関係は当然役立つとして、法律関係の授業は何かしらのトラブルに巻き込まれそうなどの心構えとして役立っている。
2011	建築計画
2011	・研究。特に、新規のテーマ。装置の立上げ、理論の組立、予想していなかった結果に対して、どう対応するかが学生の能力を伸ばすと思う。
2011	〇〇研究室でのゼミ
2011	とくにない。特に大学(大学院ではなく)の授業はあまり身になってるとは感じない。
2011	特になし。
2011	情報系の授業全般

2011	専門知識(電気・電力)の講義 →業務に直結してる力
2011	特になし。
2011	なし。
2011	情報処理の教育です。新人のうちは様々な雑用をこなすので、ITの知識は何をやるにも必須です。
2011	地球環境科学コースに所属しており、学んだ知識が社会でどのように活用できるかを学べる良い講義であった。「社会地球科学」
2011	留学経験(海外での研究発表)
2011	ゼミ
2011	特になし。
2011	特に無し。
2011	①実験:理論がイメージとして、また経験として自分の頭に入っていることは、論理立てて物事を考えるときのベースになるため。②ワークショップ形式:相手と議論したり、アイデアを出し合う際のルール、進め方、まとめ方、伝え方など必要なことを見つけられるため。
2011	特別演習。研究会や学会等では説明しない部分(専門分野の人なら多くの人が知っていること)をわかりやすく説明する事の難しさを知ることが出来たため。
2011	一般教育全般
2011	情報基礎の授業は、文書作成や表計算、ディレクトリの考え方など有意義だったと思う。
2011	ひとつひとつの授業で学ぶものはあったと考えている。知らなくて良い内容など何一つないと考えるため。

Q9 教育を含め、熊本大学大学院全般にわたって意見等

修了年度	全般的な意見
2004	集計おつかれさます。
2004	Q7の通り、とにかく教授達をまともなものにしたほうが良い。本人達は研究実績がどれだけすごいのか知らないが、講義聞くとプレゼンは下手なんだからあとすぐに分かる。
2004	社会人の生の声が聞ける機会を多く取るとよいと思います。良い刺激を受けることと思います。
2004	特になし。
2004	現在、関東地方で働いていますが“熊大”といって“おっ！”といわれ続けるような、素晴らしい大学であり続けて欲しいです。
2004	九州の大学といえば九大。熊本大学で唯一メジャーなのが医学部くらい。他の学部もがんばってほしい。
2004	お世話になりました。ありがとうございました。
2004	私自身も含めてですが、情報を検索する力はあるても、それを知識に落とし込めていない若者が増えてきているように感じます。Q6に書かせていただきましたとおり、1つのテーマを深いところまで突き詰めることで、コア技術となるものを1つ、身につけて欲しいと思います。(たとえ仕事で使うことがないとしても)また“使える英語力”を身につけられる学習環境の構築に力を入れていただきたいです。(英語が出来る人はすごい、と言う風習は確実に変わりつつあります。)
2004	就職指導(面接・試験等)をもう少し力を入れてはどうか。
2004	Q3の内容は習得すべき知識・能力は学生にも十分周知されているか?意識されていないと、評価や振り返りも出来ないのでは。一般的な表現でしかないので、学部・研究室・(個人)の単位で、具体的にすることが必要ではないかと感じた。※実社会(企業等)では具体性が不可欠。
2004	語学研修などの機会があればよいと思う。
2004	マンツーマン指導は、必ずどこかで組み込むべき。当人が本気で色々考える良い機会になる。
2004	勉強も大事だが、学生のうちにストレス耐性やコミュニケーション能力を身に付けて欲しい。
2004	もっと外国語に力を入れて欲しい。第二言語はさわりだけで、役立つとはいいい難い。
2009	学会で発表したり、何かを作ったり、アウトプットする機会を与えて下さい。経験によって様々な成長につながると思います。
2009	先生が教えてくれないのはよくない。
2009	私が在学中は、学生の学力の評価基準が甘かったように感じました。
2009	特になし。

2009	社会人になってから大学生活を思い出すことは、よくあります。楽しかったことつらかったこと、全てが今の私の糧になっている。大学時は損得関係なく、様々なことに首を突っ込んで自己の成長の足がかりをしてもらえればと考えます。
2009	もっと教育体制が充実して欲しいです。
2009	選抜をもう少し慎重にしたほうがよい。就職のサポートを手厚くしたほうがよい。
2009	特にございません。
2009	企業と関わりをもつ研究室が増えれば良いと思う。大学と企業の考え方や仕事の方法・進め方は違うので、学生のうちから知っておくことができれば、企業への理解が深まると思うので。
2009	もう少し「何に」役立つのか解説があれば良いと思う。
2009	英語はとにかく重要です。TOEIC850以上取れるようになっていれば、新卒でも一目置かれます。
2009	基礎学力の向上と主体的に考え行動する学生の輩出に努めて欲しい。コミュニケーション能力重視で中身がない人物が散見される。仕事は一人ではできないので、働いていく中でコミュニケーション能力はついてくる。逆に時間に追われ、基礎がおろそかになりがちとなるので、時間がある学生時代にしっかりと基礎を固め、言われたことだけをやるのではなく自ら考え、周囲を見て課題設定し行動する姿勢を身に付けて欲しい。
2009	卒業後も、上下がつながりやすいシステムの構築をしてほしい。
2009	国際力に力をいれるべき。
2009	修論の質を高めてほしい。実験の延長にしかみえないのが多い印象があります。
2009	容易に単位を出さない厳しい評価基準にのっとり、卒業が難しい大学になって下さい。
2009	実社会では答えのないものに答えを出していかないといけないため、課題解決能力が非常に重要である。
2009	スペシャリストの育成が最も重要であると考えます。
2011	熊本大で勉強したことは自分のターニングポイントになりました。社会人院生のリカレントの場として、大変有難かったです。
2011	教授から与えられた作業をする事が研究であると考えている学生が非常に多いように感じます。学生自信がPDCAサイクルを実施し、各々のステップで考え、工夫する事が大切であり、教官はそれを促すように努めるべきと考えます。(あと、このようなアンケートはWEB入力できたら良いと思います。)
2011	留学生等、海外の方と触れる機会が、学部時代に比べ大幅に増えた。ぜひそのような機会を活かしグローバルマインドを持った後輩達が来てくれれば幸いである。
2011	理系大学院は研究室での拘束時間が長く、やりたい事があっても出来ない事が多かったのも、もう少し学生に自由を与えてもいいかも…と思います。(それによって、サボったりしては本末転倒ですが…。)
2011	やる気のない学生、留年して遊ぶだけが目的の学生は容赦なく落第させて、研究室には、入ってこないようにしてほしい。面倒を見る上級生が地獄をみるから。
2011	無いです。
2011	授業・研究室において非効率・無駄が多いと感じることがあった。自身の学科に関しては就職活動に対する支援があまり無かったと感じる。
2011	専門知識を定着させる機会や時間があまりない。
2011	外国語を用いて、自分の考えを表現する機会があればよかったです。
2011	素晴らしい先生、施設(研究、図書館)があり、勉強するのにふさわしい環境。グローバル化する昨今の実社会においては、「自主性・主体性」「英語力」「論理性」「コミュニケーション力」が強く求められておりますので、是非、これを養えるカリキュラム整備をお願いします。
2011	世界に誇れる熊大にしてください。
2011	今までを継承する事から、一旦離れ、新たな一面を創造する事に力を入れ、教授陣の一新を望みます。
2011	良い先生はいると思うが、それに学生がついていけるのかは分からない。
2011	国内外の学会へ積極的に参加できるよう、学校側からの援助があれば助かると考える。理由:学会に参加し、発表する事が、学生の成長に大きく影響を与える為。
2011	せっかく素晴らしい研究を行っているのだからもっと企業連携などを行って欲しいと思う。専門的分野の協力を企業は必要としていると感じます。
2011	なし。
2011	学生の好奇心を引き出すような講義をして下さい。

2011	専門教育の名の下に学生を奴隷のように扱ったり、専門外の就職を希望する学生への高圧的に対応等はやめていただきたい。
2011	勉学は1人でも可能ですが、仕事は1人ではできません。会社という組織の中に入り、同じ会社の人や社外の人と一緒に仕事を行う機会があります。大学の授業では、グループワークの機会を増やしてもよいかと思えます。
2011	転科のシステムをもっとわかりやすく説明しておく、中退者が減るのではないかと思います。
2011	・Q4の資質は大学院では身に付きません。また、それ以前に身に付いているべきものがほとんどです。・大学側は「高度で専門的な知識の修得」を目指しているが、学生にその気がなく、テストの点だけ良ければいいと遊んでおり、結果、役に立たない学生を送り出している。卒業を厳しく審査すべき。・大学院卒を採用するメリットが小さく、学部卒の採用を増やそうとしています。何のために大学院へ進学するのか、考えさせるべき。また、入学自体を制限してもいいくらい。
2011	特になし。
2011	一般家庭等でも使えるファイナンスの知識を覚えさせた方が良い。
2011	OBを紹介するなど、就職活動をもっとサポートしてほしい。
2011	多様化・複雑化する社会に求められる人材を育てるためには、学生に危機感を持たせることが必要である。また、実社会のニーズを把握する教員配置も必要である。大学院は研究課程であるので、実社会で求められる研究を行うべきである。
2011	グループワークなどでリーダーを交代させながら話し合う授業などを実施する。
2011	Q6でも述べましたが、専門職のインターンは学生にとって今後のライフプランをイメージする為に非常に重要と考えます。大学もこれらの機会を作る努力をして頂きたいです。
2011	自主的に学ぼうと思う人々に、国内問わず、多くのチャンスを与えてほしい。
2011	ゼミではいろいろなことを学ぶことができた。授業は個々の学習に対する意識を上げさせないといけないと思う。
2011	インターシップも含め、社会で経験する機会を多くしてもらいたい。一般の会社で働いている人は、大学で働いている人と考え方や、スピード感などで異なっていることが多いため、体感しておくことは大事である。
2011	大学院が職業訓練校、就職が出来なかった人の“とりあえず”の受け皿になりませんように。

**修了生アンケート
(保健学教育部)**

平成26年度実施修了生アンケート結果集計(保健学教育部)

Q1 あなた自身について教えてください。

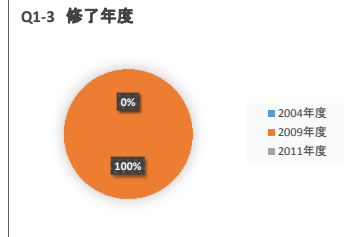
2. あなたが修了した課程について、該当する番号をご記入下さい。



Q1-2

1 博士前期課程・修士課程	2
2 博士後期課程	0
3 34年の博士課程	0
4 法科大学院の課程	0

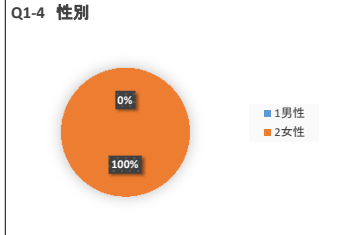
3. 修了年度を西暦又は和暦でご記入下さい。



Q1-3

2004年度	0
2009年度	2
2011年度	0

4. 男性は「1」を、女性は「2」を記入して下さい。

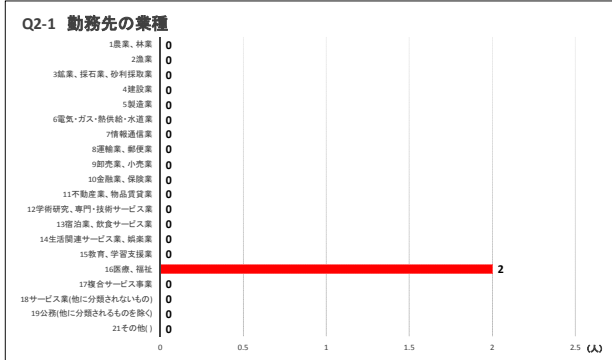


Q1-4

1 男性	2
2 女性	0

Q2 勤務先について教えてください。

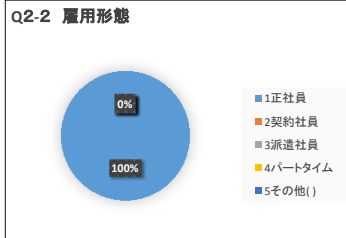
1. 勤務先の主たる業種について、該当する番号をご記入下さい。



Q2-1

1 農業、林業	0
2 漁業	0
3 鉱業、採石業、砂利採取業	0
4 建設業	0
5 製造業	0
6 電気・ガス・熱供給・水道業	0
7 情報通信業	0
8 運輸業、郵便業	0
9 卸売業、小売業	0
10 金融業、保険業	0
11 不動産業、物品賃貸業	0
12 学術研究、専門・技術サービス業	0
13 宿泊業、飲食サービス業	0
14 生活関連サービス業、娯楽業	0
15 教育、学習支援業	2
16 医療、福祉	0
17 複合サービス事業	0
18 サービス業(他に分類されないもの)	0
19 公務(他に分類されるものを除く)	0
21 その他()	0

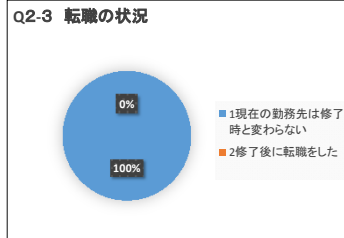
2. 勤務先での雇用形態について、該当する番号をご記入下さい。



Q2-2

1 正社員	2
2 契約社員	0
3 派遣社員	0
4 パートタイム	0
5 その他()	0

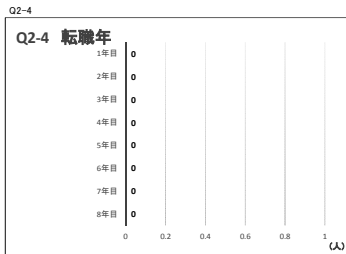
3. 現在の勤務先について、該当する番号をご記入下さい。



Q2-3

1 現在の勤務先は修了時と変わらない	2
2 修了後に転職をした	0

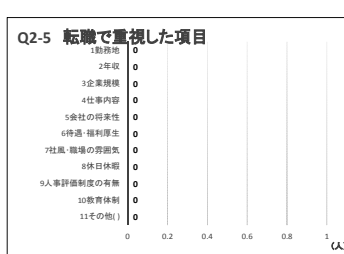
4. 修了後何年目で転職されたか、該当する番号をご記入下さい(複数回転職された方は、最初の転職について記入して下さい。)



Q2-4

1年目	0
2年目	0
3年目	0
4年目	0
5年目	0
6年目	0
7年目	0
8年目	0

5. 転職で重視した項目について、該当する番号をご記入下さい(複数回答可)。



Q2-5

1 勤務地	0
2 年収	0
3 企業規模	0
4 仕事内容	0
5 会社の将来性	0
6 待遇・福利厚生	0
7 社員・職場の雰囲気	0
8 休日休暇	0
9 人事評価制度の有無	0
10 教育体制	0
11 その他()	0

Q3 現在、熊本大学大学院は、次の表の(1)~(4)に掲げる、「大学院課程において修得すべき知識・能力(以下「大学院課程で修得すべき知識等」)」の修得を目的とする教育を実施しています。

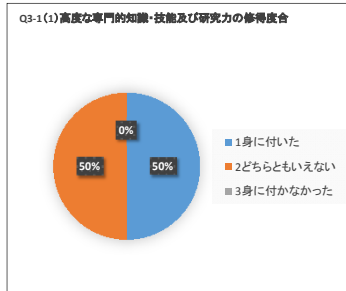
みなさまは、「大学院課程で修得すべき知識等」がまだ制定されていない時期の教育課程により修了されましたが、「大学院課程で修得すべき知識等」の修得を目的とする教育を受けて修了した学生と比較するためにお願いします。

1. 熊本大学大学院で受けた教育により、「大学院課程で修得すべき知識等」に相当する能力・実質がどの程度身に付いたか、について該当する番号を、表の「A3-1」欄にご記入下さい。

2. 実社会で読み直してこられた経験に照らして、「大学院課程で修得すべき知識等」は実社会においてどの程度役に立つか、について該当する番号を、表の「A3-2」欄にご記入下さい。

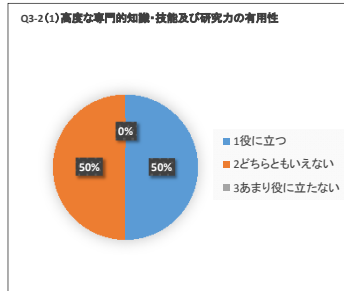
1 身に付いた 2 どちらともいえない 3 身に付かなかった

1 役に立つ 2 どちらともいえない 3 あまり役に立たない



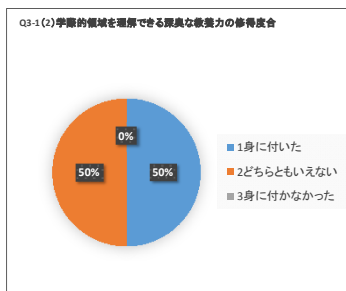
Q3-1(1)

1身に付いた	1
2どちらともいえない	1
3身に付かなかった	0



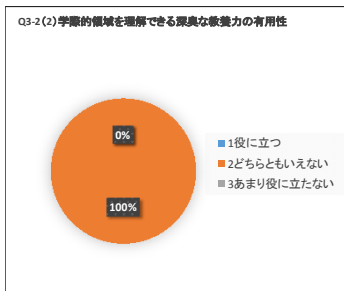
Q3-2(1)

1役に立つ	1
2どちらともいえない	1
3あまり役に立たない	0



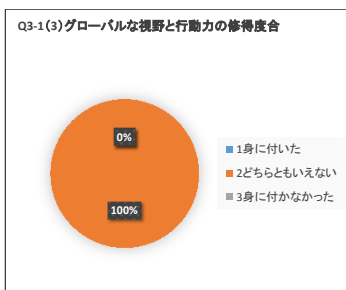
Q3-1(2)

1身に付いた	1
2どちらともいえない	1
3身に付かなかった	0



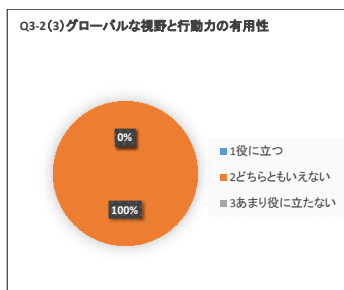
Q3-2(2)

1役に立つ	0
2どちらともいえない	2
3あまり役に立たない	0



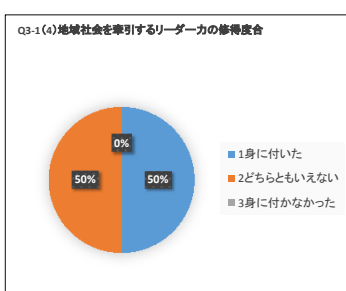
Q3-1(3)

1身に付いた	0
2どちらともいえない	2
3身に付かなかった	0



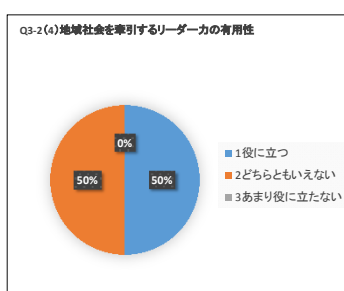
Q3-2(3)

1役に立つ	0
2どちらともいえない	2
3あまり役に立たない	0



Q3-1(4)

1身に付いた	1
2どちらともいえない	1
3身に付かなかった	0



Q3-2(4)

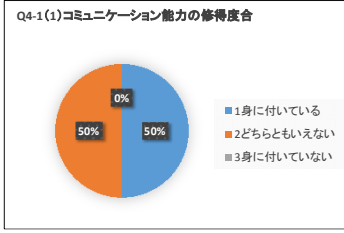
1役に立つ	1
2どちらともいえない	1
3あまり役に立たない	0

Q4 次の表に掲げる能力・資質は、中央教育審議会等や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を顕微化したものです。貴社での経験に照らしてお答えください。

1. 次の表の(1)～(6)の能力・資質を身に付いているか、について該当する番号を後の「A4-1」欄にご記入下さい。なお、(7)については、具体的な能力・資質について括弧内にご記入下さい。

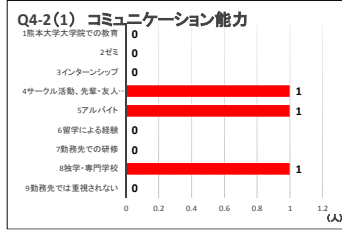
1 身に付いている 2 どちらともいえない 3 身に付いていない

2. 次の表の(1)～(6)の能力・資質を身に付けるのに何が役に立ったか、について該当する番号を後の「A4-2」欄にご記入下さい(複数回答可)。



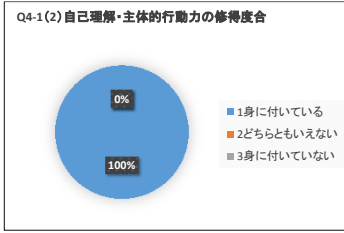
Q4-1(1)

1身に付いている	1
2どちらともいえない	1
3身に付いていない	0



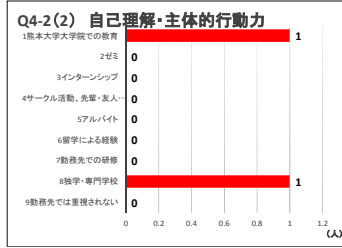
Q4-2(1)

1 熊本大学大学院での教育	0
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	1
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	1
9勤務先では重視されない	0



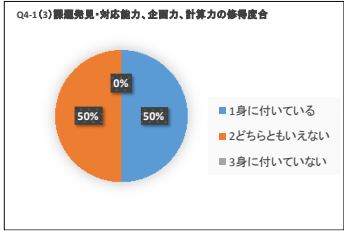
Q4-1(2)

1身に付いている	2
2どちらともいえない	0
3身に付いていない	0



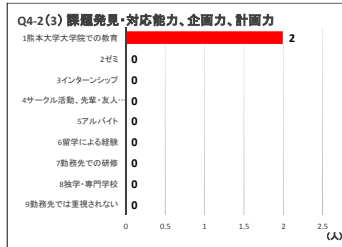
Q4-2(2)

1 熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	1
9勤務先では重視されない	0



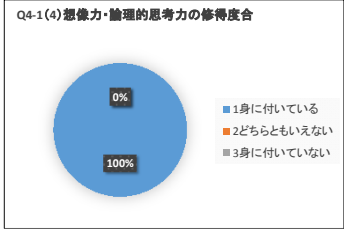
Q4-1(3)

1身に付いている	1
2どちらともいえない	1
3身に付いていない	0



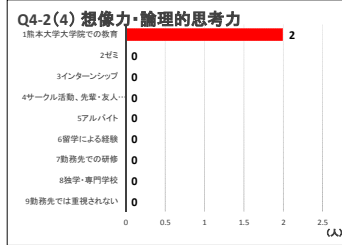
Q4-2(3)

1 熊本大学大学院での教育	2
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



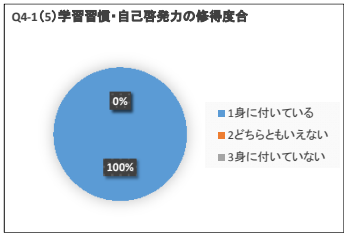
Q4-1(4)

1身に付いている	2
2どちらともいえない	0
3身に付いていない	0



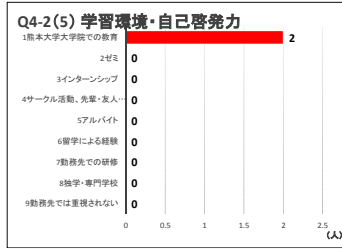
Q4 A4-2(4)

1 熊本大学大学院での教育	2
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



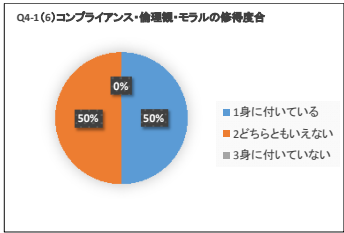
Q4-1(5)

1身に付いている	0
2どちらともいえない	2
3身に付いていない	0



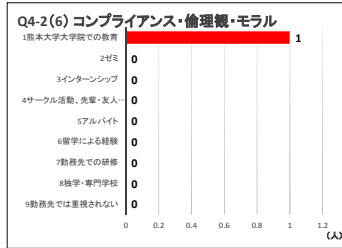
Q4-2(5)

1 熊本大学大学院での教育	2
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



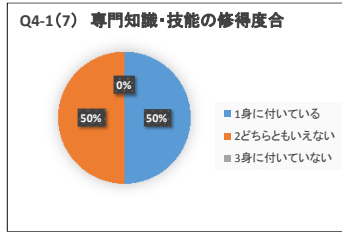
Q4-1(6)

1身に付いている	1
2どちらともいえない	1
3身に付いていない	0



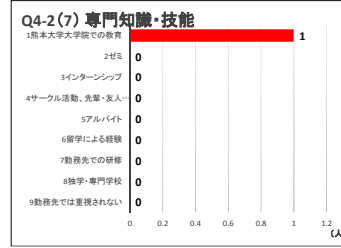
Q4-2(6)

1 熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



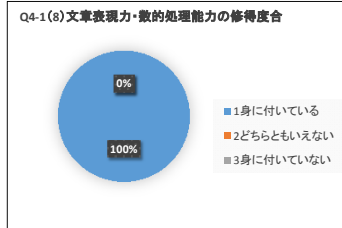
Q4-1(7)

1身に付いている	1
2どちらともいえない	1
3身に付いていない	0



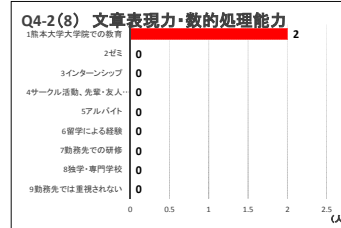
Q4-2(7)

1熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



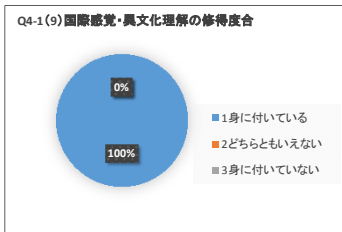
Q4-1(8)

1身に付いている	2
2どちらともいえない	0
3身に付いていない	0



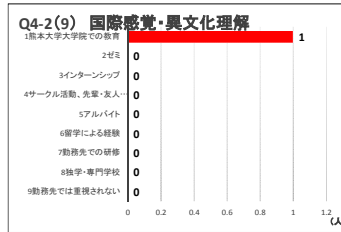
Q4-2(8)

1熊本大学大学院での教育	2
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



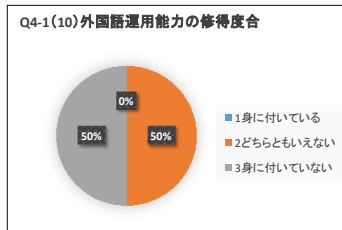
Q4-1(9)

1身に付いている	0
2どちらともいえない	2
3身に付いていない	0



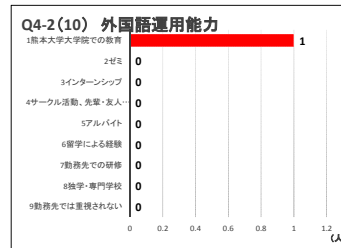
Q4-2(9)

1熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



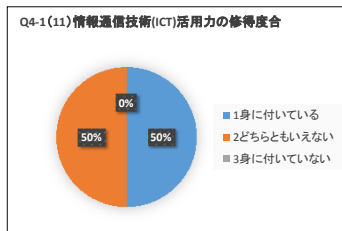
Q4-1(10)

1身に付いている	0
2どちらともいえない	1
3身に付いていない	1



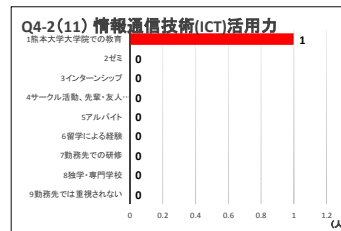
Q4-2(10)

1熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



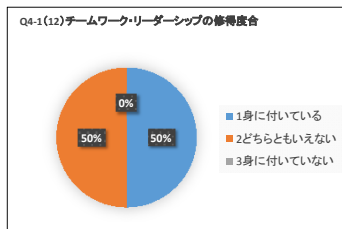
Q4-1(11)

1身に付いている	1
2どちらともいえない	1
3身に付いていない	0



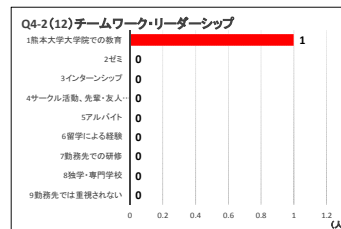
Q4-2(11)

1熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



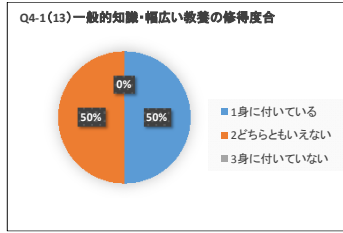
Q4-1(12)

1身に付いている	0
2どちらともいえない	2
3身に付いていない	0



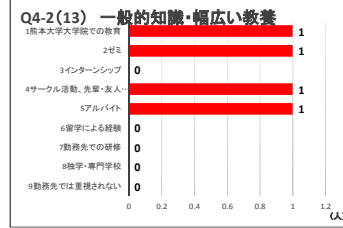
Q4-2(12)

1熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



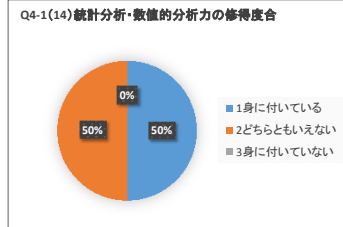
Q4-1(13)

1身に付いている	1
2どちらともいえない	1
3身に付いていない	0



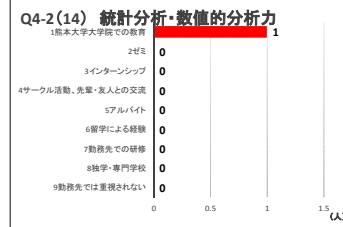
Q4-2(13)

1 熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	1
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	1
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



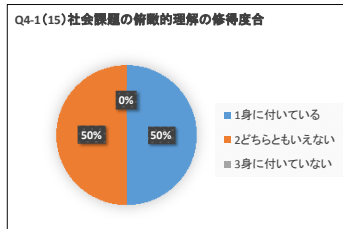
Q4-1(14)

1身に付いている	1
2どちらともいえない	1
3身に付いていない	0



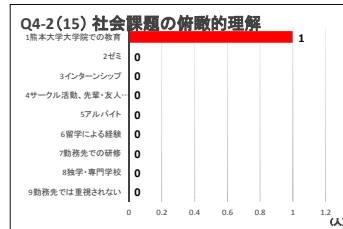
Q4-2(14)

1 熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0



Q4-1(15)

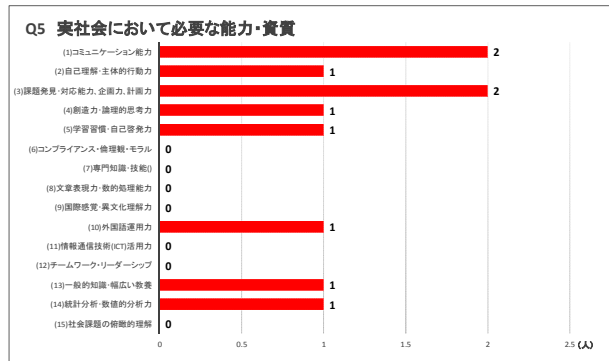
1身に付いている	1
2どちらともいえない	1
3身に付いていない	0



Q4-2(15)

1 熊本大学大学院での教育	1
2ゼミ	0
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	0
8独学・専門学校	0
9勤務先では重視されない	0

Q5 Q4の表の(1)~(15)の能力・資質のうち、実社会における経験に照らして必要とお考えになるものについて、6つまでその番号をご記入下さい。



Q5

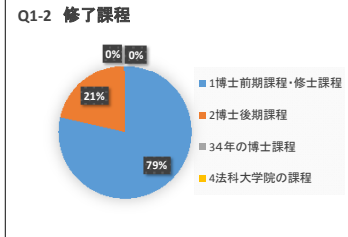
(1)コミュニケーション能力	2
(2)自己理解・主体的行動力	1
(3)課題発見・対応能力、企画力、計画力	2
(4)創造力・論理的思考力	1
(5)学習習慣・自己啓発力	1
(6)コンプライアンス・倫理観・モラル	0
(7)専門知識・技能	0
(8)文章表現力・数的処理能力	0
(9)国際感覚・異文化理解力	0
(10)外国語運用力	1
(11)情報通信技術(ICT)活用能力	0
(12)チームワーク・リーダーシップ	0
(13)一般的知識・幅広い教養	1
(14)統計分析・数値的分析力	1
(15)社会課題の俯瞰的理解	0

修了生アンケート
(薬学教育部)

平成26年度実施修了生アンケート結果集計(薬学教育部)

Q1 あなた自身について教えてください。

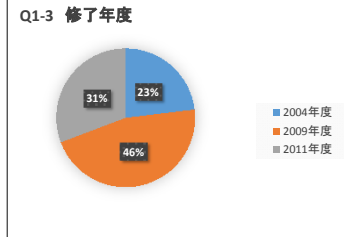
2. あなたが修了した課程について、該当する番号をご記入下さい。



Q1-2

1 博士前期課程・修士課程	22
2 博士後期課程	6
3 34年の博士課程	0
4 法科大学院の課程	0

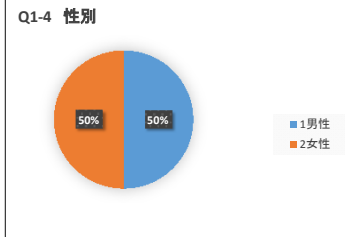
3. 修了年度を西暦又は和暦でご記入下さい。



Q1-3

2004年度	6
2009年度	12
2011年度	8

4. 男性は「1」を、女性は「2」を記入して下さい。

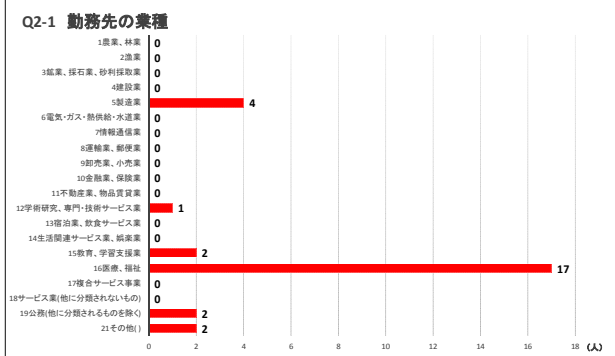


Q1-4

1 男性	14
2 女性	14

Q2 勤務先について教えてください。

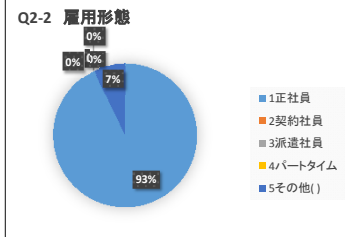
1. 勤務先の主たる業種について、該当する番号をご記入下さい。



Q2-1

1 農業、林業	0
2 漁業	0
3 鉱業、採石業、砂利採取業	0
4 建設業	0
5 製造業	4
6 電気・ガス・熱供給・水道業	0
7 情報通信業	0
8 運輸業、郵便業	0
9 卸売業、小売業	0
10 金融業、保険業	0
11 不動産業、物品賃貸業	0
12 学術研究、専門・技術サービス業	1
13 宿泊業、飲食サービス業	0
14 生活関連サービス業、娯楽業	0
15 教育、学習支援業	2
16 医療、福祉	17
17 総合サービス業	0
18 サービス業(他に分類されないもの)	0
19 公務(他に分類されるものを除く)	2
20 その他()	2
21 その他()	2

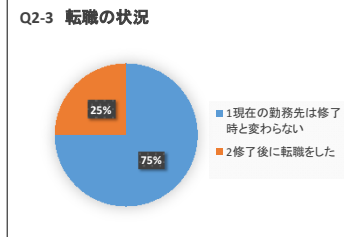
2. 勤務先での雇用形態について、該当する番号をご記入下さい。



Q2-2

1 正社員	26
2 契約社員	0
3 派遣社員	0
4 パートタイム	0
5 その他()	2

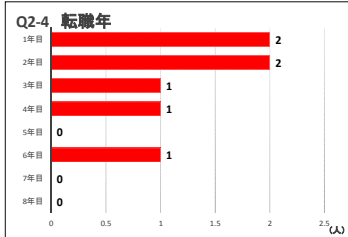
3. 現在の勤務先について、該当する番号をご記入下さい。



Q2-3

1 現在の勤務先は修了時と変わらない	21
2 修了後に転職をした	7

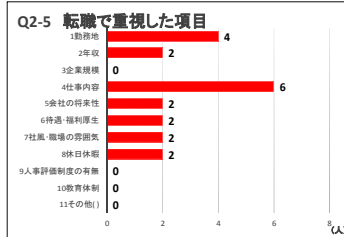
4. 修了後何年目で転職されたか、該当する番号をご記入下さい(複数回転職された方は、最初の転職について記入して下さい。)



Q2-4

1年目	2
2年目	2
3年目	1
4年目	1
5年目	0
6年目	1
7年目	0
8年目	0

5. 転職で重視した項目について、該当する番号をご記入下さい(複数回答可)。



Q2-5

1 勤務地	4
2 年収	2
3 企業規模	0
4 仕事内容	6
5 会社の将来性	2
6 待遇・福利厚生	2
7 社員・職場の雰囲気	2
8 休日休暇	2
9 人事評価制度の有無	0
10 教育体制	0
11 その他()	0

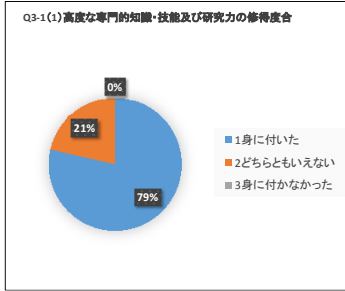
Q3 現在、熊本大学大学院は、次の表の(1)～(4)に掲げる、「大学院課程において修得すべき知識・能力(以下「大学院課程で修得すべき知識等」)」の修得を目的とする教育を実施しています。

みなさまは、「大学院課程で修得すべき知識等」がまだ制定されていない時期の教育課程により修了されましたが、「大学院課程で修得すべき知識等」の修得を目的とする教育を受けて修了した学生と比較するためにお願いします。

1. 熊本大学大学院で受けた教育により、「大学院課程で修得すべき知識等」に相当する能力・実質がどの程度身に付いたか、について該当する番号を、表の「A3-1」欄にご記入下さい。

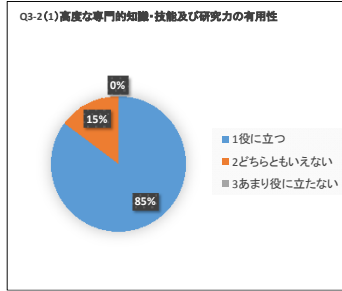
2. 実社会で読み直してこれらに照らして、「大学院課程で修得すべき知識等」は実社会においてどの程度役に立つか、について該当する番号を、表の「A3-2」欄にご記入下さい。

1 身に付いた 2 どちらともいえない 3 身に付かなかった

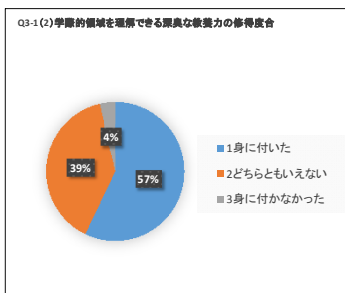


Q3-1(1)	
1身に付いた	22
2どちらともいえない	6
3身に付かなかった	0

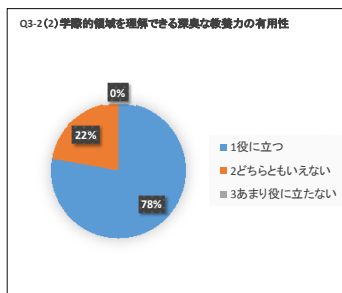
1 役に立つ 2 どちらともいえない 3 あまり役に立たない



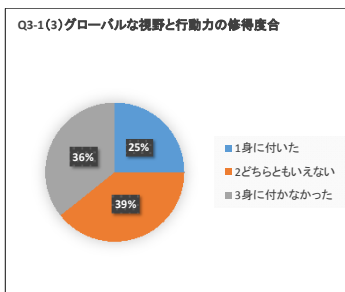
Q3-2(1)	
1役に立つ	23
2どちらともいえない	4
3あまり役に立たない	0



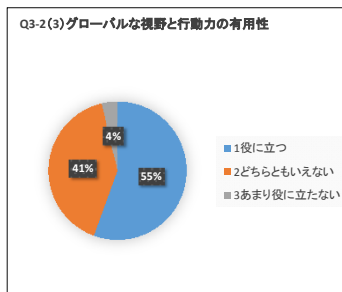
Q3-1(2)	
1身に付いた	16
2どちらともいえない	11
3身に付かなかった	1



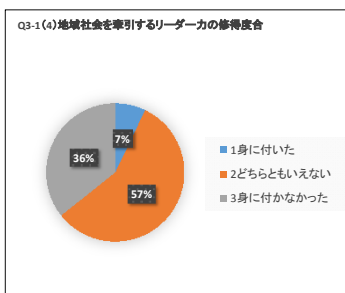
Q3-2(2)	
1役に立つ	21
2どちらともいえない	6
3あまり役に立たない	0



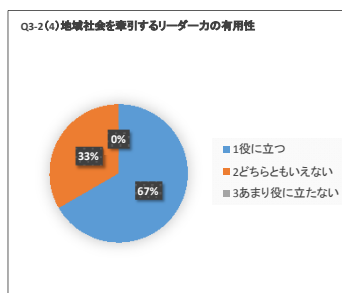
Q3-1(3)	
1身に付いた	7
2どちらともいえない	11
3身に付かなかった	10



Q3-2(3)	
1役に立つ	15
2どちらともいえない	11
3あまり役に立たない	1



Q3-1(4)	
1身に付いた	2
2どちらともいえない	16
3身に付かなかった	10



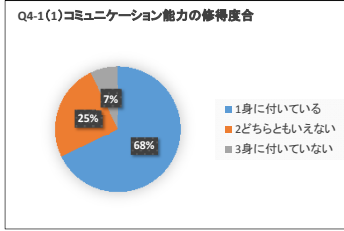
Q3-2(4)	
1役に立つ	18
2どちらともいえない	9
3あまり役に立たない	0

Q4 次の表に掲げる能力・資質は、中央教育審議会審中や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を顕微化したものです。貴社での経験に照らしてお答えください。

1. 次の表の(1)～(6)の能力・資質を身に付けているか、について該当する番号を後の「A4-1」欄にご記入下さい。なお、(7)については、具体的な能力・資質について括弧内にご記入下さい。

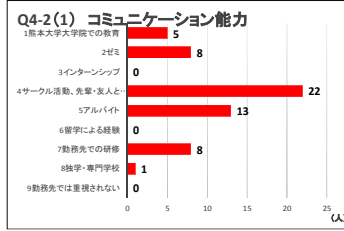
1 身に付いている 2 どちらともいえない 3 身に付いていない

2. 次の表の(1)～(6)の能力・資質を身に付けるのに何が役に立ったか、について該当する番号を後の「A4-2」欄にご記入下さい(複数回答可)。



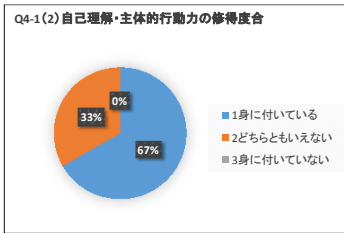
Q4-1(1)

1身に付いている	19
2どちらともいえない	7
3身に付いていない	2



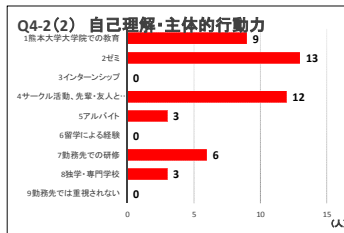
Q4-2(1)

1 熊本大学大学院での教育	5
2ゼミ	8
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	22
5アルバイト	13
6留学による経験	0
7勤務先での研修	8
8進学・専門学校	1
9勤務先では重視されない	0



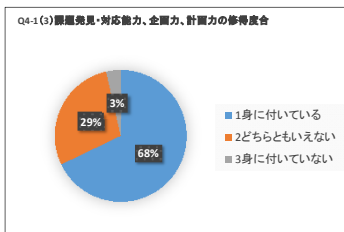
Q4-1(2)

1身に付いている	18
2どちらともいえない	9
3身に付いていない	0



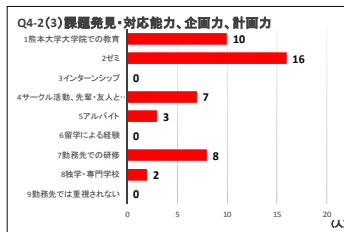
Q4-2(2)

1 熊本大学大学院での教育	9
2ゼミ	13
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	12
5アルバイト	3
6留学による経験	0
7勤務先での研修	6
8進学・専門学校	3
9勤務先では重視されない	0



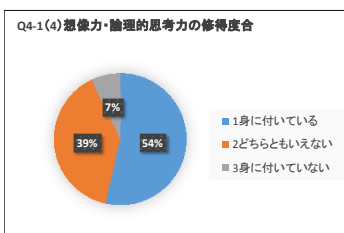
Q4-1(3)

1身に付いている	19
2どちらともいえない	8
3身に付いていない	1



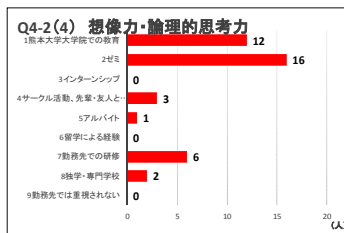
Q4-2(3)

1 熊本大学大学院での教育	10
2ゼミ	16
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	7
5アルバイト	3
6留学による経験	0
7勤務先での研修	8
8進学・専門学校	2
9勤務先では重視されない	0



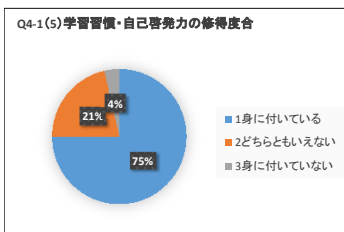
Q4-1(4)

1身に付いている	15
2どちらともいえない	11
3身に付いていない	2



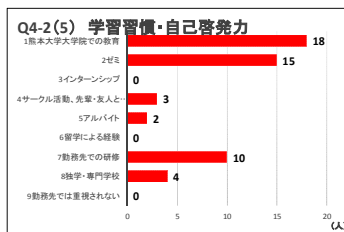
Q4-2(4)

1 熊本大学大学院での教育	12
2ゼミ	16
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	3
5アルバイト	1
6留学による経験	0
7勤務先での研修	6
8進学・専門学校	2
9勤務先では重視されない	0



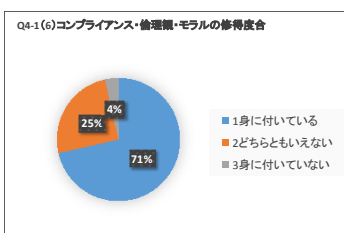
Q4-1(5)

1身に付いている	21
2どちらともいえない	6
3身に付いていない	1



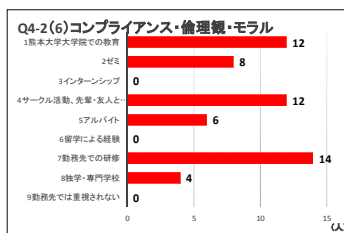
Q4-2(5)

1 熊本大学大学院での教育	18
2ゼミ	15
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	3
5アルバイト	2
6留学による経験	0
7勤務先での研修	10
8進学・専門学校	4
9勤務先では重視されない	0



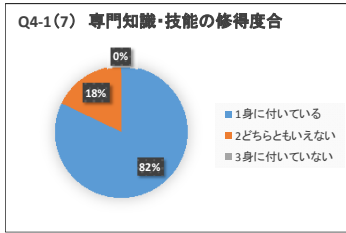
Q4-1(6)

1身に付いている	20
2どちらともいえない	7
3身に付いていない	1

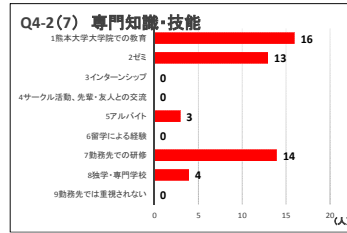


Q4-2(6)

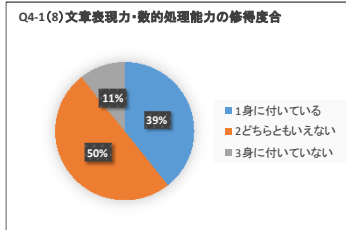
1 熊本大学大学院での教育	12
2ゼミ	8
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	12
5アルバイト	6
6留学による経験	0
7勤務先での研修	14
8進学・専門学校	4
9勤務先では重視されない	0



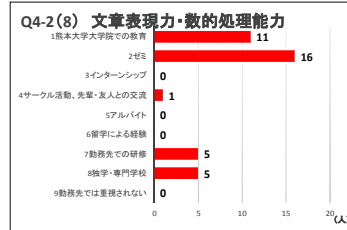
1身に付いている	23
2どちらともいえない	5
3身に付いていない	0



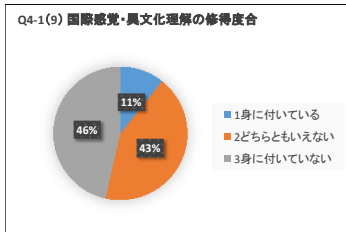
1熊本大学大学院での教育	16
2ゼミ	13
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	3
6留学による経験	0
7勤務先での研修	14
8独学・専門学校	4
9勤務先では重視されない	0



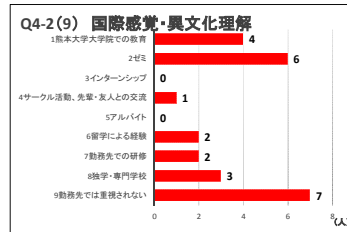
1身に付いている	11
2どちらともいえない	14
3身に付いていない	3



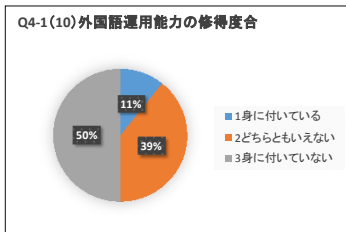
1熊本大学大学院での教育	11
2ゼミ	16
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	5
8独学・専門学校	5
9勤務先では重視されない	0



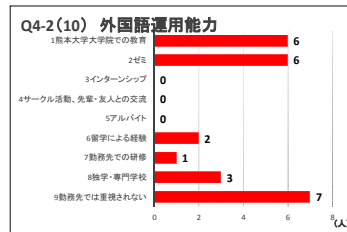
1身に付いている	3
2どちらともいえない	12
3身に付いていない	13



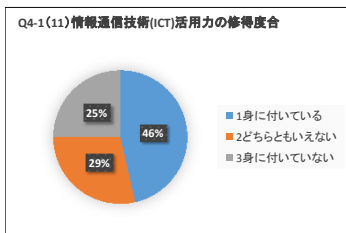
1熊本大学大学院での教育	4
2ゼミ	6
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	0
6留学による経験	2
7勤務先での研修	2
8独学・専門学校	3
9勤務先では重視されない	7



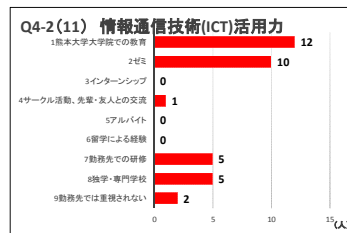
1身に付いている	3
2どちらともいえない	11
3身に付いていない	14



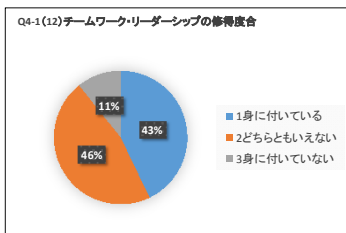
1熊本大学大学院での教育	6
2ゼミ	6
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	2
7勤務先での研修	1
8独学・専門学校	3
9勤務先では重視されない	7



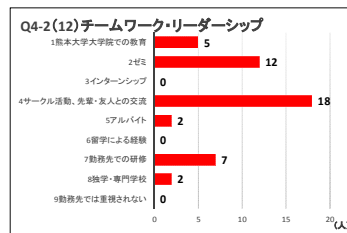
1身に付いている	13
2どちらともいえない	8
3身に付いていない	7



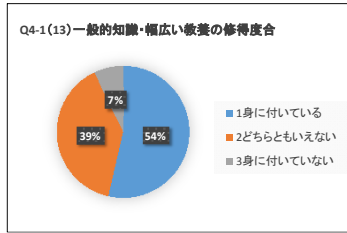
1熊本大学大学院での教育	12
2ゼミ	10
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	1
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	5
8独学・専門学校	5
9勤務先では重視されない	2



1身に付いている	12
2どちらともいえない	13
3身に付いていない	3

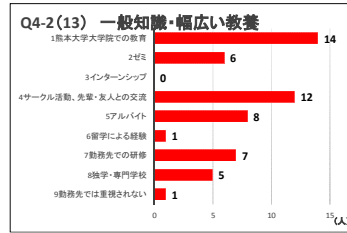


1熊本大学大学院での教育	5
2ゼミ	12
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	18
5アルバイト	2
6留学による経験	0
7勤務先での研修	7
8独学・専門学校	2
9勤務先では重視されない	0



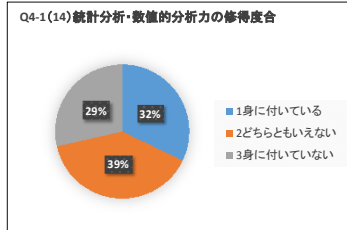
Q4-1(13)

1身に付いている	15
2どちらともいえない	11
3身に付いていない	2



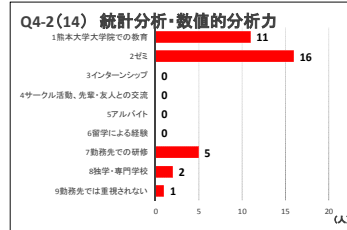
Q4-2(13)

1熊本大学大学院での教育	14
2ゼミ	6
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	12
5アルバイト	8
6留学による経験	1
7勤務先での研修	7
8独学・専門学校	5
9勤務先では重視されない	1



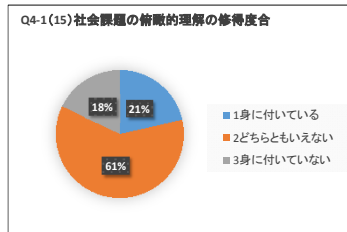
Q4-1(14)

1身に付いている	9
2どちらともいえない	11
3身に付いていない	8



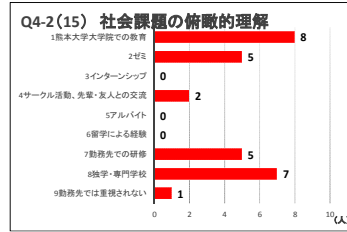
Q4-2(14)

1熊本大学大学院での教育	11
2ゼミ	16
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	0
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	5
8独学・専門学校	2
9勤務先では重視されない	1



Q4-1(15)

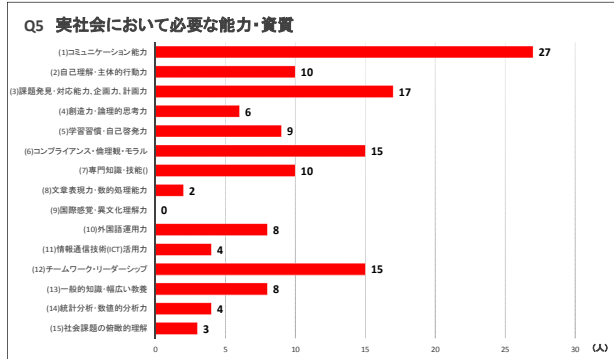
1身に付いている	6
2どちらともいえない	17
3身に付いていない	5



Q4-2(15)

1熊本大学大学院での教育	8
2ゼミ	5
3インターンシップ	0
4サークル活動、先輩・友人との交流	2
5アルバイト	0
6留学による経験	0
7勤務先での研修	5
8独学・専門学校	7
9勤務先では重視されない	1

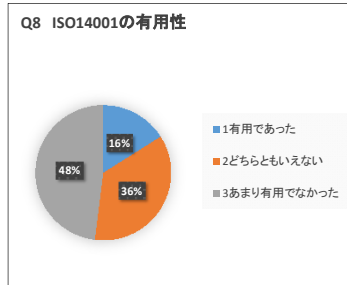
Q5 Q4の表の(1)～(15)の能力・資質のうち、実社会における経験に照らして必要とお考えになるものについて、5つまでその番号をご記入下さい。



Q5

(1)コミュニケーション能力	27
(2)自己理解・主体的行動力	10
(3)課題発見・対応能力、企画力、計画力	17
(4)創造力・論理的思考力	6
(5)学習習慣・自己啓発力	9
(6)コンプライアンス・倫理観・モラル	15
(7)専門知識・技能①	10
(8)文章表現力・物的処理能力	2
(9)国際感覚・異文化理解力	0
(10)外国語運用力	8
(11)情報通信技術(ICT)活用力	4
(12)チームワーク・リーダーシップ	15
(13)一般的知識・幅広い教養	8
(14)統計分析・数値的分析力	4
(15)社会課題の俯瞰的理解	3

8 専学教育部を修了された方にお尋ねします。専学教育部が独自に導入している「ISO14001」に基づく教育システムは、就職活動や卒業後に有用でしたか。また、よろしければ、その理由をご記入下さい。
1 有用であった 2 どちらともいえない 3 あまり有用でなかった



Q8

1有用であった	4
2どちらともいえない	9
3あまり有用でなかった	12

Q6 Q4の能力・資質のほかに、社会人として必要と思うもの、大学院時代に身に付けておけばよかったこと、熊本大学大学院の学生に学生時代に身に付けて欲しいことや経験して欲しいこと等について

修了年度	社会人として必要と思うもの等
2004	やはりとにかくコミュニケーションスキルは無くてはならないものだと思います。いくら知識が豊富でもコミュニケーションがうまくとれないと何も生み出すことはできないと思います。また、リーダーシップについても関係に重要性を感じています。
2004	どんな仕事であろうとも、粘り強くやれる精神力を身につけて欲しい。
2004	・向上心・希望しない仕事、事柄にあたった時も、積極的に関与する気持ち
2009	社会人としての礼儀、マナーは院で知っておくべきだと思う。また自発的な意見や行動をする力も必要である。
2009	体力・精神力
2009	接遇、プレゼンテーション。有機化学は意外と薬剤師に重要。薬剤師としての実臨床について。
2009	Q4の項目がすべてだと思います。
2009	学生のときは早く社会に出ることを考えていたが、納得して卒業できたかといえそうでもないもので、学生時代にやり切った社会に出たと思えるように何事も取り組んでいけばよかったと思う。
2011	・交渉力、様々な業務があるなかでスケジュール管理をし、確実に一つ一つを計画通り(余裕を持って)こなしていくこと。(自ら計画を立て、実行する力)
2011	化学系職業を目指すなら「危険物取扱者」「有機溶剤作業主任者」などの資格を積極的に取ると良いと思う。
2011	英語は必須。スピーキング。
2011	語学力、自己分析能力
2011	ストレス耐性→ストレスだらけ。良いことばかりでないのでストレスに強くなる必要あり。

Q7 有意義だったと思う授業について、またその理由

修了年度	有意義だったと思う授業
2004	薬学以外の教養のカリキュラム全て、薬剤師として就職してしまうと、薬学以外の分野について専門知識を持った方々から学ぶ機会はほとんど無いため、とても貴重だったと思っています。
2004	薬学部の専門教育は全ての科目において、役に立っている。
2004	大学院講義で、現場で働いている人からの講義をうけたこと。
2009	実習(実験室での)・・・職場では機械化されている手技の理屈を理解しておくことでトラブルに強くなる。
2009	専門講義
2009	名前は忘れましたが、教養の英語の授業。ただ英語を教えるという訳ではなく、その文章が書かれた背景、単語や連語がどうやってその意味になったか等、理系の学科では学べないことを学べました。その後の専門課程も含め、それ以外には、有意義と感じたものはありませんでした。
2009	ゼミでの論文(英語)を読んだのプレゼンテーション
2009	授業は、他の機関の研究者の講演会への出席、気が付いたら単位が出ていた、というのが殆どで心に残っていません。
2009	授業は、振り返ればどれも大事なことを提示享受していたと思うが、当時は少しもそういった気持ちをもてずにいたので、もったいなかったと思います。
2011	・英語での自分の研究内容についてのプレゼンテーション。英語を読み書きする機会はゼミ等で頻繁にありましたが、“話す”ということは大学生生活を通してあまり機会がなかったため、大変印象に残っていますし、もっとそのような機会があればよかったと思っています。
2011	1人1台のPCを配布されるのが普通になりつつあるので、PC関係は役立った。
2011	医学部員教員による授業(解剖学など)
2011	特許演習。実社会に出て、必要にかられた時、学んだ経験が役に立ったから。
2011	専門的授業→現在専門職についているため。
2011	授業ではないですが、研究室活動(セミナー、論文投稿、学会発表)

Q8 薬学教育部が独自に導入している「ISO14001」に基づく教育システムについて

修了年度	ISO14001の有用性
2004	そのシステムについてをそもそも理解しておりません。
2004	ISOの知識を得ることは出来たが、卒業後には生かされていないと思います。
2004	以前の勤務先では、ISO9001を取得しており、ISO14001のシステムを知っていたので理解しやすかった。
2004	・大学からの説明が、なかった。もしくは意味が不明。
2009	特に思い当たることがないため。
2009	あまり理解していなかった。
2009	システムについて覚えていないから。
2009	どのような取りくみかすら、知りません。
2009	実感が無い。
2009	そのメリットをあまり理解できていなかったため。有用かどうかの判断ができない。
2009	教員が全く心に留めてないように思う。環境環境と言われるが、学生は具体的に何をやっていいのかわからない。ゴミの捨て方で色々言われたこともあるが、ISOとはそんなにチープで、小学校の先生が児童に求めるようなことなのか、と思った。
2009	ISO14001に基づく教育システムがどういうものか理解していません。(在籍中も説明があったかどうか？記憶にありません)
2009	分別の習慣がついた。
2009	知らなかった。
2011	あまりISO14001の内容を就職活動で問われたことも、仕事で活用したこともないため。
2011	活用法が分からない。
2011	省エネと言う漠然としたものを具体的に細分化して明確にし、数値などで管理する事で環境の面だけでなくコンプライアンス遵守の大切さを理解する事ができた。
2011	製薬企業の方は取得を目指している場合が多いため、考え方が理解できるため。
2011	特に役に立っていない。ゴミの分別位しか記憶にない。

Q9 教育を含め、熊本大学大学院全般にわたって意見等

修了年度	意見全般
2004	リーダーシップには様々な形があると思いますが、そもそもリーダーシップについて感じる、考える時間と言うのが学生のころにあったらもっともっと有意義な日々を早くからおくれていた気がします。とにかくリーダーシップ、コミュニケーションスキルの重要性を感じます。
2004	私は熊大で学べたことを誇りに思っています。この先、熊大で学び卒業していく学生にも同じように思える教育・環境をお願いします。
2004	多くのことを教育するのではなく、当たり前なことを継続してやれる能力がつくような教育をして欲しいです。
2004	取得すべき知識等が制定されるのは結構だと思うが、大学院の自由度をうばうべきではない。自ら考えて必要な知識を得ていくのがよいと考える。それができなければ、辞めてもらえばよい。
2009	大学院卒後の職のあっせんにもっと力を入れて欲しい。学歴を無駄にしないように。
2009	ゼミは、担当教官によって、かなり指導が異なると思います。私は、教育、ゼミよりも、独学や、周りの友人によって、今の様々なスキルが身についたと思っています。もう少し、「どうしてそうなるのか？」という思想が身に付くような、授業・指導が必要だと思います。
2009	現場に出てから、「何を学んでいたら、こういうことに役立つ」ということが分かったことが多いので、早い段階で実習があれば、目的意識をもって学べると思います。
2009	研究をしない、論文を書かない教員、社会人を育てる器のない教員はいらないと思います。
2011	熊大大学院で学んだことは、非常によかったと思っていますし、誇りに思っています。他のいわゆるランクが上の大学と比較しても、研究内容や受けた講義、学生のレベルは劣っていないと感じます。また卒業後も、卒業生活動が続いている、つながりが強いことは(県外でも)熊大の魅力だと思います。ただ、就職活動に関しては関東や関西にある大学と圧倒的に情報量が少ないと思います。地方から全国レベルの就職活動の大変さ(金銭的にも)を含め、より院生向けの就活サポートもあつたらよいかと思います。
2011	自分が制度をうまく活用できなかった。

2011	よく学ぶと同時によく遊ぶ雰囲気はかけがえの無い友人とかけがえの無い時間を過ごす上で非常に重要でした。今後もそれを継続してもらうことがQ4の表にある能力・資質を身に付ける上で必要だと思います。
2011	熊本大学大学院では学ばせていただいた5年間で、今の社会生活に大きく影響しています。後輩たちの活躍を期待しています。
2011	大学院で学んだことは、専門職に就いたので大変役に立つ(生かされている)が、それ以外の職についたとしたら生かされるかどうかは分からない。
2011	概して、若者が「元気」がないようなので、元気を養えるような教育を導入して欲しい。また留学制度の拡充を行って欲しい。